豊田市美術館
年報

ANNUAL REPORT
Toyota Municipal Museum of Art

NO.30

凡例

展覧会の出品作品および収集作品のデータは
原則として、以下のとおりに記した。
作家名
作品名
制作年
技法、素材
寸法（縦×横×奥行、直径はΦで表示）
所蔵者
ただし、常設展及び常設特別展において所蔵者が
「豊田市美術館」である場合は、原則省略した。

目次

常設展

004 第3期常設展示
005 髙橋節郎館　第1期常設展示
豊田市美術館コレクション展「在／不在の肖像」
009 髙橋節郎館　第2期常設展示
012 髙橋節郎館　第3期常設展示

常設特別展

開館30周年記念コレクション展　VISION 星と星図
014 星図Ⅰ：社会と、世界と
018 星図Ⅱ：独りと、集団と
023 星図Ⅲ：それぞれの実存

企画展

026 モネ ― 睡蓮のとき
029 アンチ･アクション　彼女たち、それぞれの応答と挑戦
034 没後50年　髙島野十郎展

作品管理

041 収集作品一覧
046 作品貸出実績

教育・普及

048 講演会、シンポジウム
講座、講演会、ギャラリートーク、ワークショップ
050 作品ガイドボランティア
学校団体の受け入れ
051 博物館実習
学芸員研修生
研修会
来館促進事業
052 出版、ビデオ、音声ガイド制作
撮影協力

053 **調査研究**

利用実績

054 観覧者数
ギャラリー利用状況
055 ライブラリー利用状況
レストラン等付属施設利用状況

組織

056 組織図
美術館運営協議会
美術品収集委員会

関係法規

057 豊田市美術館条例
058 豊田市美術館管理規則

061 **沿革**

第3期常設展示

2026年1月6日［火］— 3月15日［日］
62日間
展示室6-7

展示室6

01
小堀 四郎
影
1927年
油彩、カンヴァス
130.5×89.8cm

02
小堀 四郎
ツゥールの朝
1928年
油彩、カンヴァス
50.0×60.8cm

03
小堀 四郎
赤衣の女
1932年
油彩、カンヴァスボード
45.5×38.0cm

04
小堀 四郎
ドーミエ作《クリスパンとスキャパン》の模写
1932年
油彩、カンヴァス
60.3×82.2cm

05
小堀 四郎
老人像
1939年
油彩、カンヴァス
61.8×51.1cm

06
小堀 四郎
冬の星
1953年
油彩、カンヴァス
45.7×65.5cm

07
小堀 四郎
高原の星夜
1961年
油彩、カンヴァス
91.2×117.4cm

08
小堀 四郎
恐山の月
1975年
油彩、カンヴァス
72.7×91.0cm

09
小堀 四郎
人生とは
1982年
油彩、カンヴァス
162.5×130.5cm

10
小堀 四郎
二人で歩いた厳しい道
1987年
油彩、カンヴァス
161.8×149.0cm

展示室7

11
宮脇 晴
自画像（17才）
1919年
油彩、カンヴァス
45.5×33.3cm

12
宮脇 晴
ボタン
1921年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9cm

13
宮脇 晴
ひなげしの庭
1977年
油彩、カンヴァス
72.7×90.9cm

14
宮脇 晴
犬を引く自画像
1976年
油彩、カンヴァス
116.0×80.0cm

15
宮脇 晴
包帯のある自画像
1981年
油彩、カンヴァス
117.0×73.0cm

16
宮脇 綾子
かれい
1955年
アプリケ
32.8×40.4cm

17
宮脇 綾子
玉ねぎ断面
1979年
アプリケ
33.7×25.6cm

18
宮脇 綾子
いちご
1980年
アプリケ
31.0×38.0cm

19
宮脇 綾子
しゃこ二匹
1981年
アプリケ
27.3×24.3cm

20
宮脇 綾子
唐辛子
1985年
アプリケ
40.0×79.0cm

21
宮脇 綾子
ひなげし
1985年
アプリケ
45.0×37.0cm

22
宮脇 綾子
芽の伸びたこんにゃく芋
1985年
アプリケ
94.0×34.0cm

23
宮脇 綾子
こごみ
1986年
アプリケ
25.5×37.0cm

髙橋節郎館　第1期常設展示
豊田市美術館コレクション展「在／不在の肖像」

2025年5月31日［土］— 9月15日［月・祝］
ただし6月17日［火］— 20日［金］は休館
91日間
髙橋節郎館

01
髙橋 節郎
ゴールデンデリシャス カーマインレッド 1
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
2.8×13.9×11.6cm

02
髙橋 節郎
ゴールデンデリシャス マルーン 1
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.2×13.9×11.6cm

03
髙橋 節郎
ゴールデンデリシャス アイボリーブラック
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.3×14.2×11.8cm

04
髙橋 節郎
ゴールデンデリシャス エメラルドグリーン
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.3×14.1×11.8cm

05
髙橋 節郎
キャンディープレート カーマインレッド
1953年
化学塗料、鉄
1.4×11.8×14.2cm

06
髙橋 節郎
キャンディープレート エメラルドグリーン
1953年
化学塗料、鉄
6.0×7.8×9.0cm

07
髙橋 節郎
エッグスタンド レッド
1953年
化学塗料、針金
14.5×6.2×5.8cm

08
髙橋 節郎
エッグスタンド グレー
1953年
化学塗料、針金
14.2×8.6×6.1cm

09
髙橋 節郎
エッグスタンド ブラウン
1953年
化学塗料、針金
14.0×6.0×5.0cm

10
髙橋 節郎
灰皿：シルクハット バイオレット
1953年
化学塗料、鉄
7.6×12.3×10.5cm

11
髙橋 節郎
灰皿：シルクハット レッド
1953年
化学塗料、鉄
7.3×12.4×10.2cm

12
髙橋 節郎
三角ユニット花器 I 黄
1950年代
木胎漆器
27.3×10.5×9.0cm

13
髙橋 節郎
三角ユニット花器 I 赤 1
1950年代
木胎漆器
27.3×10.5×9.0cm

14
髙橋 節郎
四角ユニット花器 黄
1938年
木胎漆器
6.3×10.5×10.5cm

15
髙橋 節郎
四角ユニット花器 白
1938年
木胎漆器
6.3×10.5×10.5cm

16
髙橋 節郎
四角ユニット花器 赤
1938年
木胎漆器
6.4×10.6×10.6cm

17
髙橋 節郎
四角ユニット花器 黒
1938年
木胎漆器
6.4×10.6×10.6cm

18
髙橋 節郎
乾漆壷 21
1955年頃（1989年 再制作）
乾漆
34.2cm

19
髙橋 節郎
花器百態 1
1950年代
陶胎漆器
13.0×18.0×14.5cm

20
髙橋 節郎
花器百態 3
1950年代
陶胎漆器
20.6×18.8×13.0cm

21
髙橋 節郎
花器百態 4
1950年代
陶胎漆器
14.5×25.5×14.5cm

22
髙橋 節郎
花器百態 5
1950年代
陶胎漆器
10.3×9.5×26.5cm

23
髙橋 節郎
花器百態 6
1950年代
陶胎漆器
10.2×26.9×21.8cm

24
髙橋 節郎
飾盆 楓 B
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

25
髙橋 節郎
飾盆 薔薇
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

26
髙橋 節郎
飾盆 櫻
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

27
髙橋 節郎
飾盆 風信子
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

28
髙橋 節郎
飾盆 百合
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

29
髙橋 節郎
花器装飾枠 1
1938年
真鍮
12.4×12.8×12.8cm

30
髙橋 節郎
踊り A（下図）
1954年
鉛筆、紙
27.4×21.2cm

31
髙橋 節郎
踊り B（下図）
1954年
鉛筆、紙
27.5×21.0cm

32
髙橋 節郎
東京美術学校課題演習 1
1933年
水彩、鉛筆、紙
38.1×58.2cm

33
髙橋 節郎
東京美術学校課題演習 4
1934-37年
水彩、鉛筆、紙
75.0×50.0cm

34
髙橋 節郎
東京美術学校課題演習 5
1934-37年
水彩、鉛筆、紙
50.2×76.2cm

35
髙橋 節郎
角力
1951年
モノタイプ、漆、紙

30.0×25.5cm

36
髙橋 節郎
千手観音
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
28.0×19.5cm

37
髙橋 節郎
二人
1958年
モノタイプ、漆、紙
41.5×32.0cm

38
髙橋 節郎
踊り A
1954年
鎗金
19.0×19.0cm

39
髙橋 節郎
踊り B
1954年
鎗金
19.0×19.0cm

40
髙橋 節郎
宇宙人
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
30.0×25.5cm

41
髙橋 節郎
紋
1972年
鎗金、彩錆絵
121.0×90.8cm

42
髙橋 節郎
遠い記録
1973年
鎗金
120.9×98.0cm

43
髙橋 節郎
化石
1963年
彩錆絵
180.0×150.0cm

44
髙橋 節郎
山高水清
制作年不詳
墨、水彩、紙
175.0×365.0cm（六曲一隻屏風）

45
髙橋 節郎
地久大恵 11a
1993年
木芯乾漆
12.0×17.0×99.5cm

46
髙橋 節郎
地久大恵 11b
1993年
木芯乾漆
11.5×17.0×87.0cm

47
髙橋 節郎
地久大恵 13
1993年
木芯乾漆
33.0×51.0×78.0cm

48
髙橋 節郎
地久大恵 14
1993年
木芯乾漆
59.3×10.0×21.8cm

49
髙橋 節郎
断層
1962年
朱叩き塗
188.1×182.8cm

50
髙橋 節郎
天宙の記
1972年
鎗金
182.0×182.8cm

51
髙橋 節郎
乾漆壷 1
1989年
乾漆
91.7cm、Φ12.2cm

52
髙橋 節郎
乾漆壷 3
1989年
乾漆
59.4cm

53
髙橋 節郎
乾漆壷 13
1989年
乾漆
46.7cm

54
髙橋 節郎
乾漆壷 18
1989年
乾漆
46.5cm、Φ18.0cm

55
髙橋 節郎
乾漆壷 20
1989年
乾漆
40.6cm

56
髙橋 節郎
古墳借景
1978年
鎗金、螺鈿
176.0×170.0cm

57
髙橋 節郎
遠森の記
1974年
鎗金
175.8×163.4cm

58
髙橋 節郎
星座物語
1994年
鎗金、箔押、螺鈿、堆朱
176.0×173.0cm

59
髙橋 節郎
振振
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
62.5×96.2cm

60
髙橋 節郎
地層 B
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
74.5×96.0cm

61
髙橋 節郎
体
1966年
モノタイプ、漆、紙
62.3×56.7cm

62
髙橋 節郎
断層 A
1961年
モノタイプ、漆、紙
82.3×56.0cm

63
髙橋 節郎
化石深海 A
1964年
モノタイプ、漆、紙
63.4×95.3cm

64
髙橋 節郎
化石深海 B
1964年
モノタイプ、漆、紙
59.5×95.0cm

65
髙橋 節郎
弧
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
60.1×68.4cm

66
髙橋 節郎
嶽
1984年
墨、紙
93.0×184.0cm

67
髙橋 節郎
アルプスの見える街
1984年
墨、水彩、紙
95.2×63.8cm

68
髙橋 節郎
鎗金四方盆 花
1994年
蒔絵
3.0×23.0×23.0cm

69
髙橋 節郎
鎗金線紋四方盆 琴弦 1
1994年
鎗金
3.0×23.1×23.0cm

70
髙橋 節郎
鎗金線紋四方盆 琴弦 2

1994年
鎗金
3.0×23.0×23.0cm

71
髙橋 節郎
染付飾皿 松と波
1989年
染付
4.4cm、Φ31.2cm

72
髙橋 節郎
染付飾皿 杉山松山
1989年
染付
6.2cm、Φ37.0cm

73
髙橋 節郎
染付飾皿 木立
1989年
染付
6.0cm、Φ36.8cm

74
髙橋 節郎
爽風高原
制作年不詳
墨、水彩、紙
58.0×90.0cm

75
髙橋 節郎
ハープ：銀河饗奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm

76
髙橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

77
髙橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm

豊田市美術館コレクション展「在／不在の肖像」

78
梅原 龍三郎
少女アニーン
1908年
油彩、カンヴァス
41.0×32.8cm

79
宮脇 晴
えりまきの少女
1920年
油彩、カンヴァス
45.6×33.2cm

80
小堀 四郎
赤衣の女
1932年
油彩、カンヴァスボード
45.5×38.0cm

81
中村 彝
髑髏のある静物
1923年
油彩、カンヴァスボード
32.5×23.7cm

82
前田 寛治
I子像
1928年
油彩、カンヴァス
90.6×72.8cm

83
岸田 劉生
横臥裸婦
1913年
油彩、カンヴァス
45.5×53.0cm

84
ジャン・デュビュッフェ
存在の漏出
1950年
油彩、イゾレル
55.0×46.0cm

85
国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩、カンヴァス
66.0×81.3cm

86
ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩、カンヴァス
116.0×81.1cm

87
高松 次郎
赤ん坊の影 No. 122
1965年
ラッカー、カンヴァス
182.0×227.0cm

88
奈良 美智
Through the Break in the Rain
2020年
アクリル、カンヴァス
220.0×195.0cm

89
小林 孝亘
Pillow
2021年
油彩、カンヴァス
91.0×117.0cm
寄託作品

90
森 千裕
ヘルメットフリーザー
2016年
樹脂、プラスチック製ライム、LED、ヘルメット
22.0×25.0×35.0cm

91
宮脇 綾子
甘夏みかんと柚子
1985年
アプリケ
34.0×34.5cm

92
宮脇 綾子
小魚の群れ
1985年
アプリケ
30.7×46.7cm

93
宮脇 綾子
はりえ日記
1972-90年
水彩、アプリケ
各30.2×21.0cm

94
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.9×110.5×2.7cm

95
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

96
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

97
横山 大観
達磨
1907年
膠彩、絹布
148.2×57.2cm
（展示期間：5月31日－8月3日）

98
安田 靫彦
波上飜兇
1942年
膠彩、紙
151.0×56.0cm
（展示期間：5月31日－8月3日）

99
村上 華岳
瞻部樹下悉達太子禅定之図
1933年
墨、膠彩、紙
67.3×31.7cm
（展示期間：5月31日－8月3日）

100
アリギエロ・ボエッティ
ALIGHIERO BOETTI
1975年
インク、紙
70.0×100.0cm
（展示期間：5月31日－8月3日）

101
森 千裕
ヘッドルーム
2016年
水彩、墨、アクリル、鉛筆、紙、木製パネル
140.5×102.0cm
寄託作品
（展示期間：5月31日－8月3日）

102
浜田 知明
よみがえる亡霊
1956年
エッチング、アクアチント、紙
30.8×21.6cm
（展示期間：8月5日－9月15日）

103
浜田 知明
群盲
1960年
エッチング、アクアチント、紙

29.1×29.5cm
（展示期間：8月5日−9月15日）

104
浜田 知明
噂
1961年
エッチング、アクアチント、紙
36.2×23.6cm
（展示期間：8月5日−9月15日）

105
大澤 鉦一郎
自画像
1914年
木炭、紙
38.0×29.5cm
（展示期間：8月5日−9月15日）

106
宮脇 晴
自画像
1922年
木炭、紙
46.9×31.1cm
（展示期間：8月5日−9月15日）

107
河原 温
MAY 17, 1971
Todayシリーズ（1966-2013）より
1971年
アクリル、カンヴァス
25.5×33.0×4.0cm
（展示期間：8月5日−9月15日）

108
河原 温
MAY 18, 1971
Todayシリーズ（1966-2013）より
1971年
アクリル、カンヴァス
25.5×33.0×4.0cm
（展示期間：8月5日−9月15日）

109
河原 温
MAY 19, 1971
Todayシリーズ（1966-2013）より
1971年
アクリル、カンヴァス
25.5×33.0×4.0cm
（展示期間：8月5日−9月15日）

110
河原 温
MAY 20, 1971
Todayシリーズ（1966-2013）より
1971年
アクリル、カンヴァス
25.5×33.0×4.0cm
（展示期間：8月5日−9月15日）

111
河原 温
MAY 21, 1971
Todayシリーズ（1966-2013）より
1971年
アクリル、カンヴァス
25.5×33.0×4.0cm
（展示期間：8月5日−9月15日）

112
河原 温
MAY 22, 1971
Todayシリーズ（1966-2013）より
1971年
アクリル、カンヴァス
25.5×33.0×4.0cm
（展示期間：8月5日−9月15日）

113
河原 温
MAY 23, 1971
Todayシリーズ（1966-2013）より
1971年
アクリル、カンヴァス
25.5×33.0×4.0cm
（展示期間：8月5日−9月15日）

髙橋節郎館　第2期常設展示

2025年10月4日［土］— 12月21日［日］
71日間
髙橋節郎館

01
髙橋 節郎
スケッチブックより 葉々
1982年
水彩、鉛筆、紙
38.1×54.0cm

02
髙橋 節郎
スケッチブックより 枯葉
1982年
水彩、鉛筆、紙
38.0×54.0cm

03
髙橋 節郎
朝霧
1986年
墨、水彩、紙
44.3×93.4cm

04
髙橋 節郎
峻岳
1989年
墨、水彩、紙
94.0×181.4cm

05
髙橋 節郎
飾盆 楓 1
制作年不詳
漆絵
Φ27.5cm

06
髙橋 節郎
飾盆 楓 3
制作年不詳
漆絵
Φ27.5cm

07
髙橋 節郎
飾盆 楓 4
制作年不詳
漆絵
Φ27.5cm

08
髙橋 節郎
二等辺三角水盤 1
1945-54年
金胎漆器
4.0×25.0×30.0cm

09
髙橋 節郎
二等辺三角水盤 2
1945-54年
金胎漆器
4.0×25.0×35.0cm

10
髙橋 節郎
円の中の山（月彩）
1987年
蒔絵、螺鈿
1.3cm、Φ41.2cm

11
髙橋 節郎
円の中の杉（杉風）
1987年
蒔絵、螺鈿
1.4cm、Φ41.2cm

12
髙橋 節郎
円の中の松（寿松）
1987年
蒔絵、螺鈿
1.4cm、Φ41.2cm

13
髙橋 節郎
蒔絵香合 霊山
1982年
蒔絵
2.0cm、Φ7.2cm

14
髙橋 節郎
蒔絵棗 新月
1982年
蒔絵
6.7cm、Φ6.0cm

15
髙橋 節郎
化石の森
1996年
木芯乾漆
60.0×47.0×18.0cm

16
髙橋 節郎
夢･太古の星座
1995年
鎗金、箔押、螺鈿、堆朱
176.0×86.0cm

17
髙橋 節郎
夢･縄文の星座
1996年
鎗金、箔押、螺鈿、堆朱
176.0×86.0cm

18
髙橋 節郎
古墳映像
1976年
鎗金、螺鈿
175.5×173.2cm

19
髙橋 節郎
星座創記
1975年
鎗金
175.9×173.0cm

20
髙橋 節郎
古墳借景
1978年
鎗金、螺鈿
176.0×170.0cm

21
髙橋 節郎
古墳月彩
1979年
鎗金、螺鈿
179.2×169.6cm

22
髙橋 節郎
星座回帰
1986年
鎗金、螺鈿、堆朱
176.7×173.7cm

23
髙橋 節郎
古墳松韻
1982年
鎗金、螺鈿、堆朱
176.3×171.0cm

24
髙橋 節郎
古墳悠悠
1985年
鎗金、螺鈿、堆朱
176.3×173.0cm

25
髙橋 節郎
宙
1977年
鎗金、螺鈿
121.3×85.0cm

26
髙橋 節郎
天空の婦人像
制作年不詳
エッチング、紙
14.5×13.0cm

27
髙橋 節郎
風船
1959年
エッチング、紙
18.0×12.0cm

28
髙橋 節郎
夜の猫
1959年
エッチング、紙
14.5×14.5cm

29
髙橋 節郎
星座回帰（下絵）
1986年頃
鉛筆、紙
27.5×34.7cm

30
髙橋 節郎
踊り
1954年
鎗金、螺鈿、アルミニウム合金板
121.5×84.8cm

31
髙橋 節郎
踊り（タンゴ）
1966年
版画／漆、紙
56.1×82.6cm

32
髙橋 節郎
サーカスの女
1963年
エッチング、紙
18.0×14.0cm

33
髙橋 節郎
獅子舞
1964年
エッチング、紙
15.3×15.0cm

34
髙橋 節郎
高原･秋
1994年
墨、水彩、紙
59.0×90.0cm

35
髙橋 節郎
北信濃 秋 1
1984年
墨、水彩、紙

46.5×61.9cm

36
髙橋 節郎
北信濃 秋 2
制作年不詳
墨、水彩、紙
95.4×63.8cm

37
髙橋 節郎
明けゆく山湖
制作年不詳
墨、水彩、紙
45.4×46.2cm

38
髙橋 節郎
雨上がる
制作年不詳
墨、水彩、紙
52.7×94.0cm

39
髙橋 節郎
霧晴れる
1984年
墨、紙
93.5×182.5cm

40
髙橋 節郎
武蔵野の富士 1
制作年不詳
水彩、墨、紙
17.8×91.2cm

41
髙橋 節郎
武蔵野
1982年以前
墨、水彩、紙
17.0×88.0cm

42
髙橋 節郎
扇面 我眉山
制作年不詳
墨、水彩、紙
110.0×60.0cm

43
髙橋 節郎
地久大恵 1
1993年
木芯乾漆
50.0×9.0×24.0cm

44
髙橋 節郎
扇面 雲
制作年不詳
書／墨、水彩、紙
125.0×60.5cm

45
髙橋 節郎
川辺風景
制作年不詳
墨、紙
35.5×44.9cm

46
髙橋 節郎
地久大恵 12
1993年
木芯乾漆
27.5×19.0×91.0cm

47
髙橋 節郎
阿蘇
制作年不詳
墨、水彩、紙
112.0×68.0cm

48
髙橋 節郎
変形菱形水盤 白
1950年代
陶胎漆器
5.0×36.0×25.0cm

49
髙橋 節郎
半月型水盤 黒
1950年代
陶胎漆器
5.5×35.5×16.5cm

50
髙橋 節郎
半月型水盤 白
1950年代
陶胎漆器
6.0×37.0×20.0cm

51
髙橋 節郎
鰯雲
1986年
墨、水彩、紙
63.6×95.2cm

52
髙橋 節郎
秋深し 2
制作年不詳
墨、水彩、紙
31.2×45.6cm

53
髙橋 節郎
小さな教会
1998年
墨、水彩、紙
30.0×22.0cm

54
髙橋 節郎
ゴッホの麦畑
制作年不詳
水彩、墨、紙
23.1×30.5cm

55
髙橋 節郎
ゴッホの教会
1998年
墨、水彩、紙
30.0×22.0cm

56
髙橋 節郎
ゴッホの役場
1998年
墨、水彩、紙
30.0×22.0cm

57
髙橋 節郎
バルビゾンのポプラ並木
制作年不詳
水彩、墨、紙
15.5×30.7cm

58
髙橋 節郎
ニース旧市街
制作年不詳
水彩、墨、紙
31.0×11.5cm

59
髙橋 節郎
旅の印象 マイン河畔
制作年不詳
墨、水彩、紙
28.4×46.1cm

60
髙橋 節郎
ベネチア風景 III
制作年不詳
水彩、墨、紙
30.3×48.5cm

61
髙橋 節郎
旅の印象 館
制作年不詳
墨、水彩、紙
45.8×28.0cm

62
髙橋 節郎
旅の印象
制作年不詳
墨、紙
46.4×62.8cm

63
髙橋 節郎
サクレクール
制作年不詳
墨、紙
23.0×31.2cm

64
髙橋 節郎
クロンボルグ城
制作年不詳
鉛筆、紙
37.5×26.5cm

65
髙橋 節郎
旅のスケッチ
制作年不詳
鉛筆、紙
26.8×37.7cm

66
髙橋 節郎
旅の印象 シャモニー郊外
制作年不詳
墨、水彩、紙
28.0×45.8cm

67
髙橋 節郎
花花
1996年
水彩、墨、紙
60.5×46.5cm

68
髙橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

69
髙橋 節郎
ハープ：銀河饗奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm

70
髙橋 節郎
クラリネット：ベガ

2005年
プラチナ箔みだれ押し
68.3cm、Φ7.5cm

71
髙橋 節郎
クラリネット：アルタイ
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
68.2cm、Φ7.5cm

72
髙橋 節郎
クラリネットケース
2005年
プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm

73
髙橋 節郎
クラリネットケース
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm

74
髙橋 節郎
フルート：銀河
2001年
プラチナ箔みだれ押し
67.0cm、Φ2.5cm

75
髙橋 節郎
フルート：金河
2001年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
67.0cm、Φ2.5cm

76
髙橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm

髙橋節郎館　第3期常設展示

2026年1月6日［火］— 3月15日［日］
62日間
髙橋節郎館

01
髙橋 節郎
花の星座
1949年
彩研出蒔絵、アルミニウム合金板
41.9×110.4cm

02
髙橋 節郎
花の星座（下絵）
1949年頃
水彩、鉛筆、紙
61.5×85.7cm

03
髙橋 節郎
花の星座（下絵）
1949年頃
鉛筆、トレーシングペーパー
43.5×60.5cm

04
髙橋 節郎
花の星座（下絵）
1949年頃
鉛筆、トレーシングペーパー
44.0×60.0cm

05
髙橋 節郎
花の星座（下絵）
1949年頃
水彩、鉛筆、トレーシングペーパー
43.7×60.0cm

06
髙橋 節郎
紅梅白梅漆手筥
1944年
蒔絵
13.5×38.0×29.0cm

07
髙橋 節郎
紅梅白梅漆手筥（下絵 11）
1944年頃
鉛筆、トレーシングペーパー
30.0×67.7cm

08
髙橋 節郎
紅梅白梅漆手筥（下絵 12）
1944年頃
水彩、鉛筆、トレーシングペーパー
57.5×67.2cm

09
髙橋 節郎
古墳
1964年
彩錆絵
123.3×95.3cm

10
髙橋 節郎
杉の木の寓話
1959年
鎗金、螺鈿
121.4×243.2cm

11
髙橋 節郎
蜃気楼
1960年
鎗金、彩錆絵、螺鈿
197.5×182.0cm

12
髙橋 節郎
化石の年輪
1965年
鎗金、彩錆絵
182.8×182.6cm

13
髙橋 節郎
蜃気楼「空中都市」
1961年
朱叩き塗、鎗金
187.8×181.6cm

14
髙橋 節郎
蜃気楼「空中都市」（下絵）
1961年
鉛筆、紙
187.8×181.6cm

15
髙橋 節郎
蜃気楼「空中都市」（下図）
1961年頃
鉛筆、水彩、紙
35.6×27.3cm

16
髙橋 節郎
蜃気楼「空中都市」（下図）
1961年頃
鉛筆、水彩、紙
35.7×27.2cm

17
髙橋 節郎
天宙の記
1972年
鎗金
182.0×182.8cm

18
髙橋 節郎
天宙の記（下絵）
1971年頃
鉛筆、紙
182.0×182.8cm

19
髙橋 節郎
遠森の記
1974年
鎗金
175.8×163.4cm

20
髙橋 節郎
古墳群映
1977年
鎗金、螺鈿
182.0×172.0cm

21
髙橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm

22
髙橋 節郎
流雲
1962年
モノタイプ、漆、紙
119.3×95.0cm

23
髙橋 節郎
層煙
1962年
モノタイプ、漆、紙
119.4×94.7cm

24
髙橋 節郎
踊り
1954年
鎗金、螺鈿、アルミニウム合金板
121.5×84.8cm

25
髙橋 節郎
洞 2
1963年
モノタイプ、漆、紙
55.7×62.6cm

26
髙橋 節郎
譚 A
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
81.0×54.0cm

27
髙橋 節郎
譚 B
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
81.0×54.0cm

28
髙橋 節郎
瀑
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
81.0×54.0cm

29
髙橋 節郎
翔 B
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
81.0×54.0cm

30
髙橋 節郎
洞 1
1963年
モノタイプ、漆、紙
82.6×55.8cm

31
髙橋 節郎
祀
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
96.5×61.3cm

32
髙橋 節郎
崖 B
1966年
モノタイプ、漆、紙
82.6×55.8cm

33
髙橋 節郎
流
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
106.1×81.3cm

34
髙橋 節郎
零
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
62.5×96.3cm

35
髙橋 節郎
触
1975年
モノタイプ、漆、紙

55.8×82.6cm

36
髙橋 節郎
型
1966年
モノタイプ、漆、紙
55.7×82.7cm

37
髙橋 節郎
暢
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
81.0×54.0cm

38
髙橋 節郎
態
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
82.8×55.5cm

39
髙橋 節郎
生
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
62.6×55.9cm

40
髙橋 節郎
邑
1959年
モノタイプ、漆、紙
63.3×75.8cm

41
髙橋 節郎
街
1959年頃
モノタイプ、漆、紙
43.8×63.0cm

42
髙橋 節郎
乾漆壷 1
1989年
乾漆
91.7cm、Φ12.2cm

43
髙橋 節郎
乾漆壷 2
1989年
乾漆
59.4cm

44
髙橋 節郎
乾漆壷 3
1989年
乾漆
59.4cm

45
髙橋 節郎
乾漆壷 5
1989年
乾漆
42.0cm

46
髙橋 節郎
乾漆壷 6
1981年（1989年 再制作）
乾漆
21.0cm

47
髙橋 節郎
乾漆壷 8
1989年
乾漆
42.5cm

48
髙橋 節郎
乾漆壷 13
1989年
乾漆
46.7cm

49
髙橋 節郎
乾漆壷 14
1989年
乾漆
51.7cm

50
髙橋 節郎
乾漆壷 15
1989年
乾漆
101.5cm、Φ19.9cm

51
髙橋 節郎
乾漆壷 16
1989年
乾漆
93.5cm、Φ20.0cm

52
髙橋 節郎
乾漆壷 17
1989年
乾漆
39.0cm

53
髙橋 節郎
乾漆壷 18
1989年
乾漆
46.5cm、Φ18.0cm

54
髙橋 節郎
乾漆壷 19
1989年
乾漆
91.5cm、Φ12.2cm

55
髙橋 節郎
乾漆壷 21
1955年頃（1989年 再制作）
乾漆
34.2cm

56
髙橋 節郎
都会の朝
制作年不詳
モノタイプ、漆、紙
41.0×33.0cm

57
髙橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

58
髙橋 節郎
ハープ：銀河響奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm

59
髙橋 節郎
フルート：銀河
2001年
プラチナ箔みだれ押し
67.0cm、Φ2.5cm

60
髙橋 節郎
フルート：金河
2001年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
67.0cm、Φ2.5cm

61
髙橋 節郎
クラリネット：ベガ
2005年
プラチナ箔みだれ押し
68.3cm、Φ7.5cm

62
髙橋 節郎
クラリネット：アルタイ
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
68.2cm、Φ7.5cm

63
髙橋 節郎
クラリネットケース
2005年
プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm

64
髙橋 節郎
クラリネットケース
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm

開館30周年記念コレクション展
VISION 星と星図
星図Ⅰ：社会と、世界と

2025年6月21日［土］−9月15日［月・祝］
77日間
展示室1-5

開館30周年の節目にあたり、6月から3月までの10カ月間を通して、全3会期からなるコレクション展「星と星図」を開催した。各会期とも展示室1から5の部屋ごとにそれぞれ、豊田市美術館を特徴づけてきた作品群や、当館の展示空間にあわせて制作したインスタレーション作品を紹介し、3つの会期をまたぎ、各部屋を横断しながら、大きな時代の流れとともに、時代や場所を越えて共有される複数の思考の糸を実感できる展示とした。
第1期では、「社会と、世界と」の副題のもと、各展示室を通じて、芸術が少なからず政治・社会とかかわりをもつ点に着目した。具体的な展示内容としては、国内屈指のコレクションとされる戦後イタリア美術アルテ・ポーヴェラの作品や戦後ドイツ美術を導入として展示室1で紹介し、つづく展示室2で、同時代フランスの作家、ダニエル・ビュレンのインスタレーション作品《ファクシミリより場所へ》を22年ぶりに再設置。さらに展示室3では、愛知を拠点、あるいは活動の出発点とした作家たちを取り上げ、展示室4では、昨年度に新収蔵した田村友一郎《TiOS》をこの部屋にあわせて再展示し、展示室5では当館開館初期に重点的に収集されたモダン・デザインのコレクションを中心に紹介した。



チラシ

観覧料： 一般300円［250円］／高校・大学生200円［150円］／中学生以下無料
＊［ ］内は20名以上の団体料金　＊障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学の高校生、豊田市内在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）及び豊田市内在住の満70歳以上の方は無料［要証明］
主催： 豊田市美術館
出品点数： 87点
観覧者数： 102,256人


展示風景


展示風景


展示風景

関連事業：

▌作家トーク
講師：森北伸、佐藤克久、秋吉風人、田村友一郎
（出品作家）
日時：8月9日［土］午後3時30分−5時
会場：展示室1-5

▌講演会
「アルテ・ポーヴェラについて」
講師：金井直（信州大学人文学部教授）
日時：8月31日［日］午後3時−4時30分
会場：美術館講堂

印刷物：
チラシ：A4判
ギャラリーガイド：A4判／6ページ
グラフィックデザイン： Calamari Inc.
作品展示： ヤマト運輸株式会社
会場設営： ミラクルファクトリー
学芸担当： 千葉真智子、鈴木俊晴、石田大祐
庶務担当： 籠谷明日香、大原右子

展示室1

01
イミ・クネーベル
観想 I
1984年
アクリル、合板
122.0×240.0cm
寄託作品

02
イミ・クネーベル
観想 II
1984年
アクリル、合板
122.0×240.0cm
寄託作品

03
イミ・クネーベル
観想 III
1984年
アクリル、合板
122.0×240.0cm
寄託作品

04
イミ・クネーベル
観想 IV
1984年
アクリル、合板
122.0×240.0cm
寄託作品

05
イミ・クネーベル
戦闘 No.1
1991年
ラッカー、硬質繊維板
260.0×200.0cm

06
ヨーゼフ・ボイス
ヴィトリーヌ：チンギス・ハーンの玉座
1965-83年
布、ビニール・チューブ、鉄、革紐、フェルト、硫黄、顔料、脂肪、ヴィトリーヌ（木、ガラス）、鉄製台座
205.7×219.5×49.5cm

07
マリオ・メルツ
明晰と不分明/不分明と明晰
1988年
鉄、ガラス、鉛、万力、木、竹、石、ネオン管、靴、蜜蝋
280.0cm、Φ300.0cm

08
A. R. ペンク
密林の理性あるもの
1966年
油彩、カンヴァス
147.0×197.0cm

09
ヤニス・クネリス
無題
1986年
麻袋、鉛、鉄
200.0×542.0cm

10
アンゼルム・キーファー
飛べ！ コフキコガネ
1990年
エマルジョン、鉛、灰、カンヴァス
330.0×560.0cm

11
ジュリオ・パオリーニ
もうひとつの像
1984年
石膏
サイズ可変

展示室2前

12
シャルロッテ・ポゼネンスケ
シリーズD 立方管
1967/2014年
ガルバリウム鋼板
サイズ可変

13
イミ・クネーベル
ＤＩＮ規格 I B1-B4
1994年
アクリル、アルミニウムシート、合板
各34.0×25.3×8.0cm（4点組）

展示室2

14
ダニエル・ビュレン
ファクシミリより場所へ
1991年
合板、アクリル板、鏡、塗料（赤、青、黄、黒、緑）
サイズ可変（部屋の大きさに応じる）

展示室3

15
額田 宣彦
ジャングル・ジム （97-26）
1997-98年
油彩、カンヴァス
194.0×194.0cm

16
奈良 美智
春のめざめ
1990年
アクリル、カンヴァス
19.7×27.8cm
寄託作品

17
奈良 美智
Girl on the Boat
1994年
彩色、木
52.0×15.0×30.0cm

18
村瀬 恭子
Nap (L)
2003年
油彩、綿布
100.0×80.0cm

19
村瀬 恭子
Swallows 2
2009年
油彩、色鉛筆、綿布
190.0×145.0cm

20
吉本 作次
雲
1992年
油彩、カンヴァス
40.9×31.8cm
寄託作品

21
吉本 作次
三本の木と聖人の墓
2012-14年
油彩、テンペラ、木炭、鉛筆、カンヴァス
197.0×291.0cm

22
長谷川 繁
タイトル無し
1998年
油彩、綿布
303.0×193.0cm

23
長谷川 繁
死ゲル
2021年
油彩、綿布
73.0×73.0cm

24
森北 伸
瞬き
2006年
油彩、グラファイト、ＭＤＦパネル
330.0×85.0cm

25
佐藤 克久
きょうことば
2016年
アクリル、カンヴァス
72.7×53.0cm

26
佐藤 克久
むかしむかし
2013年
アクリル、ジェッソ、カンヴァスシート、厚紙、接着剤
30.0×48.0×8.0cm

27
渡辺 豪
フェイス
2002年
半透過性フィルム、蛍光灯、ディスプレイ・ケース
121.0×113.5×30.0cm

28
古池 大介
奥三河地方
2003年
ヴィデオ、LCDスクリーン
サイズ可変

29
小林 耕平
1-3-1
1999年
ヴィデオ
10分

30
秋吉 風人
A Certain Aspect （Mountain 1）
2003年
油彩、板
45.0×45.0×23.0cm

31
秋吉 風人
A Certain Aspect （Mountain 2）
2003年
油彩、板
45.0×45.0×21.0cm

展示室4

32
田村 友一郎
TiOS
2024年
映像（17分44秒）、ジョン・レノンの生成AIナレーションによるゴルフシミュレーション映像、宇宙船を模したセット、樹脂製バンカー、スマートフォン用ガラスの砂、チタン製ゴルフドライバー、ペーパーバック「ライ麦畑でつかまえて」、ステンレス製寝椅子、アファール猿人ルーシーのチタン製の骨、ステンレス製モノリス型照明、レントゲン写真、iPhone

展示室5

33
ウィリアム・モリス
いちご泥棒
製作：1883年（モリス商会、マートン・アビー工房）
木版捺染、インディゴ抜染、木綿
133.0×63.0cm

34
アーネスト・ウィリアム・ギムソン
椅子
デザイン：1890年代
製作年不詳
西洋トネリコ、イグサ
105.0×47.0×39.5cm

35
ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ
ロセッティ・アームチェア
1870-90年
ブナ、イグサ
88.8×49.5×53.0cm

36
チャールズ・レニー・マッキントッシュ
ヒルハウスのライティング・デスクの椅子
1904年
カシ、絹
101.9×40.6×43.2cm

37
チャールズ・レニー・マッキントッシュ
置時計
1905年
コクタン、象牙
23.2×11.5×10.3cm

38
チャールズ・レニー・マッキントッシュ
吊り下げランプ
1900年頃
鉛、ガラス 金属
16.5cm、Φ34.9cm

39
チャールズ・レニー・マッキントッシュ
イングラム・ストリート・ティールームのための魚用ナイフとフォーク
1901年
銀、ニッケル
ナイフ：各18.0×2.2cm（6本）、フォーク：各21.0×2.8cm（6本）

40
ヨーゼフ・ホフマン
座るためのマシーン
製作：1905年頃（ヤーコブ ウント ヨーゼフ・コーン）
ブナ
112.0×64.0cm

41
ヨーゼフ・ホフマン
サナトリウム・プルカースドルフの待合室の壁面照明器具
1904-05年
洋銀、ガラス
30.0×30.0×15.7cm

42
ペーター・ベーレンス
スプーンとナイフ
製作：1902年（ザクセン金属製品製造所アウグスト・ヴェルナー父子商会株式会社）
ホワイトメタル
スプーン：21.5×5.0cm、スプーン：20.0×4.9cm、ナイフ：25.5×2.0cm

43
ペーター・ベーレンス
ナイフ、フォーク、スプーン
製作：1904年頃（銀製品製造所フランツ・バーナー株式会社）
銀
ナイフ：24.7×2.7cm、フォーク：21.2×2.5cm、スプーン：21.7×4.5cm

44
ペーター・ベーレンス
花瓶
製作：1900年（陶器および工芸陶磁器製造フランツ・アントン・メートム）
陶器
21.2cm、Φ15.9cm

45
ペーター・ベーレンス
花瓶
製作：1900年（陶器および工芸陶磁器製造フランツ・アントン・メートム）
陶器
23.1cm、Φ11.0cm

46
ペーター・ベーレンス
花瓶
製作：1900年（陶器および工芸陶磁器製造フランツ・アントン・メートム）
陶器
22.3cm、Φ10.5cm

47
ペーター・ベーレンス
花瓶
制作年不詳
陶器
8.5×18.8cm

48
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
ニッケルメッキの真鍮、籐、木
22.8×21.2×15.4cm

49
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
デザイン：1909年
製造：1909-32年（AEG社）
真鍮、籐、木
22.6×21.0×15.5cm

50
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
デザイン：1909年
製造：1909-32年（AEG社）
ニッケルメッキの真鍮、籐、木
21.5×20.2×16.2cm

51
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
デザイン：1909年
製造：1909年以降（AEG社）
真鍮、籐、木
21.6×22.4×12.7cm

52
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
デザイン：1909年
製造：1909-32年（AEG社）
真鍮、籐、木
20.3×20.8×16.2cm

53
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
デザイン：1909年
製造：1909-32年（AEG社）
真鍮、籐、木
24.1×21.5×17.2cm

54
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
真鍮、籐、木
23.4×21.5×17.4cm

55
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
真鍮、籐、木
23.4×22.6×17.4cm

56
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
真鍮、籐、木
23.5×21.4×17.4cm

57
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
真鍮、籐、木
20.8×24.9×18.4cm

58
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
デザイン：1909年
製造：1909-32年（AEG社）
ニッケルメッキの真鍮、籐、木
21.6×20.5×16.1cm

59
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
デザイン：1909年
製造：1909-32年（AEG社）
ニッケルメッキの真鍮、籐、木
22.1×20.3×16.1cm

60
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
デザイン：1909年
製造：1909-32年（AEG社）
銅メッキの真鍮、籐、木
21.8×20.3×16.0cm

61
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
ニッケルメッキの真鍮、籐、木
19.1×20.2×16.0cm

62
ペーター・ベーレンス

電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
ニッケルメッキの真鍮、籐、木
22.2×21.1×15.5cm

63
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
ニッケルメッキの真鍮、籐、木
21.1×19.8×14.2cm

64
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
デザイン：1909年
製造：1909-32年（AEG社）
ニッケルメッキの真鍮、籐、木
20.9×19.4×14.2cm

65
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
ニッケルメッキの真鍮、籐、木
20.0×17.4×12.4cm

66
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
真鍮、籐、木
19.4×18.7×12.6cm

67
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
銅メッキの真鍮、籐、木
20.4×17.4×12.6cm

68
ペーター・ベーレンス
電気湯沸かし器
製造：1909-32年（AEG社）
銅メッキの真鍮、籐、木
21.1×20.1×14.1cm

69
ペーター・ベーレンス
卓上扇風機
製造：1908年以前（AEG社）
金属
36.0cm、Φ34.5cm

70
ペーター・ベーレンス
卓上扇風機
製造：1908年（AEG社）
金属
38.0cm、Φ32.0cm

71
ペーター・ベーレンス
卓上扇風機
製造：1908年以降（AEG社）
金属
37.2cm、Φ29.7cm

72
ペーター・ベーレンス
卓上扇風機
製造：1908年以降（AEG社）
金属
28.5cm、Φ26.5cm

73
ペーター・ベーレンス
卓上扇風機
製造：1908年以降（AEG社）
金属
28.5cm、Φ26.5cm

74
ペーター・ベーレンス
卓上扇風機
製造：1908年以降（AEG社）
金属
27.9cm、Φ27.0cm

75
ペーター・ベーレンス
卓上扇風機
製造：1908年以降（AEG社）
金属
28.3cm、Φ30.5cm

76
ペーター・ベーレンス
卓上扇風機
製造：1908年以降（AEG社）
金属
40.0cm、Φ33.0cm

77
デザイナー不詳
卓上扇風機
製造：1929年以降（AEG社）
金属
40.0cm、Φ34.0cm

78
デザイナー不詳
卓上扇風機
製造：1936年（AEG社）
金属
25.0cm、Φ25.0cm

79
ペーター・ベーレンス
電気暖房器具
製造：1920年頃（AEG社）
真鍮
69.0×54.0×30.0cm

80
ペーター・ベーレンス
電気時計
製造：1929年以降（AEG社）
真鍮、金属
11.0Φ31.0cm

81
ペーター・ベーレンス
電気時計"エレクトロクロノス"
デザイン：1910年頃
製造：1929年以降（AEG社）
真鍮、金属
10.7Φ27.7cm

82
コンスタンティン・ブランクーシ
若い男のトルソ II
1924年（1973年鋳造）
ブロンズ
41.7×27.6×13.9cm

83
コンスタンティン・ブランクーシ
雄鶏
1924年（1972年鋳造）
ブロンズ
92.4×10.5×45.0cm

84
ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ
アームチェア（MR 534）
デザイン：1927年
製作：1932年（トーネット＝ムンドス社）
クロムめっきのスティールチューブ、布、木
78.7×55.5×82.6cm

85
マルセル・ブロイヤー
クラブチェア B3（ワシリーチェア）
デザイン：1925年
製作年不詳（スタンダード＝メーベル社）
ニッケルメッキのスティールチューブ、カンヴァス
72.4×82.0×72.4cm

86
デザイナー不詳
AEGニトラ＝ランプのポスター
1916年
リトグラフ、紙
81.8×64.7cm

87
ウルリヒ・リュックリーム
〔無題〕
1968-97年
鉛筆、紙
各29.6×41.0cm

開館30周年記念コレクション展
VISION 星と星図
星図Ⅱ：独りと、集団と

2025年10月4日［土］−12月21日［日］
71日間
展示室1-5

「星と星図」第Ⅱ期では、「独りと、集団と」の副題のもと、展示室1と3の2部屋を使い、日本の戦後美術の集団的な動向と、その傍らで、時に関心を同じくしながらも独り制作を続けた作家たちの2つの軸から作品を紹介した。また展示室2では、2021年に寺内曜子が同室にあわせて制作した《パンゲア Red Square Line》を紹介し、一方、展示室4では、迎英里子が産業都市・豊田を念頭に構想した新作を披露した。さらに展示室5では宮脇綾子やウィーン工房の女性作家たちによる作品など、日常の延長線上に息づく作品を中心に紹介することで、個別の生を生きる作家たちの制作が、いかに世界を豊かに描きだしているかを明らかにした。



チラシ

観覧料： 一般300円［250円］／高校・大学生200円［150円］／中学生以下無料
＊［ ］内は20名以上の団体料金　＊障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学の高校生、豊田市内在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）及び豊田市内在住の満70歳以上の方は無料［要証明］
主催： 豊田市美術館
出品点数： 136点
観覧者数： 15,811人


展示風景


展示風景


展示風景

関連事業：

▎寺尾紗穂庭園スペシャルライブ
出演：寺尾紗穂、伊賀航
日時：10月13日［月］午後3時30分−4時30分
会場：庭園
企画協力：LIVERARY

▎「カラオケ・コモンズ」−東方悠平さんとベトナムに触れる
［展示］
会期：11月15日［土］−30日［日］
会場：ミュージアムショップ横
［トーク／ベトナム音楽DJ & カラオケ］
講師：東方悠平（美術家）
日時：11月22日［土］午後1時−5時
会場：庭園
共催：SEASUN

▎横浜×広島×豊田3館長トーク
「美術館のこれから」
講師：蔵屋美香（横浜美術館館長）、寺口淳治（広島市現代美術館館長）、高橋秀治（当館館長）
日時：11月16日［日］午後2時−3時30分
会場：美術館講堂

▎パフォーマンス＆ワークショップ
「ちょっと大き過ぎた小屋を解体しますので、（霊力が込められるかもしれない）盾と（タオパイパイなら乗りこなせる）スケボーにつくりかえて持って帰ってください。手伝います。」
パフォーマー：contact Gonzo（アーティスト・グループ）、dot architects（建築家集団）
日時：11月29日［土］午後1時−5時、30日［日］午前10時−午後4時
会場：庭園

▎作家トーク＆パフォーマンス
講師：迎英里子（出品作家）
日時：12月6日［土］午後2時−3時30分
会場：展示室4

▎上映会＆トーク
上映作品：大木裕之氏監督作品「松前君とトヨタ君の映画 20250526mix」
日時：12月14日［日］午後2時−（上映時間60分）
講師：能勢伊勢男（PEPPER LAND主宰）、黒瀬陽平（美術批評家）
会場：美術館講堂

印刷物：
チラシ：A4判
ギャラリーガイド：A4判／4ページ
グラフィックデザイン： Calamari Inc.
作品展示： ヤマト運輸株式会社、田島圭（展示室2）
会場設営： 土方大（展示室4）
学芸担当： 千葉真智子、石田大祐、西﨑紀衣、成瀬美幸
庶務担当： 籠谷明日香、大原右子

展示室1

01
田中 敦子
'94B
1994年
合成樹脂エナメル塗料、カンヴァス
300.0×510.0cm

02
元永 定正
作品 65-3
1965年
油彩、綿布
182.6×274.3×3.7cm

03
篠原 有司男
かんざし
1966, 98年
アクリル、銀箔、プラスチック板、カンヴァス
230.0×546.0cm

04
高松 次郎
コンクリートの単体
1971年
コンクリート
40.0×60.0×60.0cm

05
高松 次郎
板の単体（青）
1970年
ラッカー、木
230.0×60.0cm

06
関根 伸夫
空相ー布と石
1973年
布、石、ロープ
90.6×100.0cm、ロープ：188.0cm

07
村岡 三郎
熔断ー17,500mm×1,380℃
1995年
鉄、熱、煉瓦
23.0×1765.0×92.0cm

08
菅 木志雄
ふたつの周囲
1987年
木、鉄
163.0×32.0×85.0cm

09
榎倉 康二
無題 No.1
1980年
油彩、綿布
310.0×740.0cm

展示室2

10
寺内 曜子
パンゲア Red Square Line
2021年
和紙、アクリル絵具
無限、球・Φ3.0cm

展示室3

11
岡崎 和郎
HISASHI
1978, 90年
アルミニウム
17.5×2.2×13.8cm

12
小清水 漸
Relief '80-1
1980年
サクラ
198.0×180.0×7.5cm

13
李 禹煥
線より
1977年
油彩、岩絵具、カンヴァス
182.0×227.0cm

14
斎藤 義重
複合体 95
1995年
ラッカー、木、ボルト
270.0×820.0×400.0cm

15
斎藤 義重
作品 10
1961年
油彩、合板
181.4×121.2cm

16
諏訪 直樹
THE ALPHA AND THE OMEGA F-1
・THE ALPHA AND THE OMEGA F-2
1978年
アクリル、カンヴァス
各240.0×286.0×5.6cm（2点組）

17
堀 浩哉
池へ-81. 4
1981年
アクリル、カンヴァス
227.0×182.0cm

18
彦坂 尚嘉
P. S. 6 （人体）
1991年
アクリル、木
176.0×85.5×25.5cm

19
野村 仁
Ten-Year Photobook 又は 視覚のブラウン運動
1972-82年 （1997-2000年製本）
写真製本
各26.0×23.0×3.8cm（120冊）

20
河口 龍夫
関係-質
1978年
綿布、銅板、液体
200.0×100.0×1.4cm

展示室4

21
迎 英里子
Approach 14.0
2025年
紙、ブロワー、はさみ、懐中電灯、マイクスタンド、カンヴァス、スチールペール缶、ビニール、コンクリートブロック、アクリルパイプ、木材、布、ひも、プラスチック、金具、映像、その他
寄託作品

展示室5

22
熊谷 守一
裸婦
1961年
油彩、カンヴァス
52.2×40.2cm

23
熊谷 守一
シヂミ蝶
1958年
油彩、板
23.6×32.8cm

24
小堀 四郎
桃
1938年
油彩、カンヴァスボード
45.9×55.0cm

25
宮脇 晴
樹
1922年
鉛筆、紙
28.0×18.3cm

26
宮脇 晴
ドローイング（311）
1920年
水彩、紙
25.5×29.5cm

27
宮脇 綾子
吊った唐辛子
1963年
アプリケ
37.5×29.8cm

28
宮脇 綾子
めおと蟹
1963年
アプリケ
54.5×37.5cm

29
宮脇 綾子
れんこん
1982年
アプリケ
100.2×43.2cm

30
宮脇 綾子
かわいい毛虫
1986年
アプリケ
32.0×21.2cm

31
宮脇 綾子
遊び
1987年
アプリケ
13.4×15.7cm

32
宮脇 綾子
どくだみ
1969年
アプリケ

34.5×18.0cm

33
宮脇 綾子
さんまと干柿
1963年
アプリケ
34.0×51.3cm

34
宮脇 綾子
はぜ
1969年
アプリケ
21.0×35.0cm

35
宮脇 綾子
鰯とハタハタ
制作年不詳
アプリケ
24.0×33.2cm

36
宮脇 綾子
布置刺繍
1975年頃
アプリケ
50.0×22.0cm

37
浅野 弥衛
作品
1966年
油彩、カンヴァス
72.4×90.4cm
寄託作品

38
浅野 弥衛
無題
1965年
油彩、カンヴァス
60.6×72.7cm
寄託作品

39
加納 光於
燐と花と
1959年
インタリオ、紙
36.2×14.5cm

40
加納 光於
動く風景
1959年
インタリオ、紙
14.8×36.6cm

41
加納 光於
花・沈黙
1960年
インタリオ、紙
42.0×31.9cm

42
加納 光於
イプノス
1960年
インタリオ、紙
42.0×30.2cm

43
笹井 史恵
beloved 4
2007年
乾漆に朱漆、塗立仕上
21.0×26.0×14.0cm

44
さかぎし よしおう
5014
2005年
セラミック
14.3×15.1×7.0cm

45
さかぎし よしおう
7029
2007年
セラミック
8.7×8.7×6.5cm

46
さかぎし よしおう
5005
2005年
セラミック
4.7×8.1×4.7cm

47
堀尾 昭子
無題
2018年
鉛筆、紙箱
3.5×13.5×11.5cm

48
堀尾 昭子
無題
2020年
アクリルミラー、アクリル
7.4×12.9×3.0cm

49
堀尾 昭子
無題
2019年
コピー紙、カラーコピー
22.0×20.5cm

50
堀尾 昭子
無題
2021年
プラスティックケース、ネジ釘
12.3×26.0×33.0cm

51
堀尾 昭子
無題
2020年
アクリル、アクリル板
9.0×7.6×0.4cm

52
堀尾 昭子
無題
2018年
アクリル、木材、アクリル板
2.0×8.2×7.3cm

53
吉田 哲也
Untitled
1996年
針金
19.0×7.3×18.8cm

54
吉田 哲也
Untitled
1995年
トタン、ハンダ
21.0×8.5×24.0cm

55
吉田 哲也
Untitled
1995年
トタン、ハンダ
17.7×8.6×26.7cm

56
吉田 哲也
Untitled
1998年
針金
3.0×0.2×0.1cm、1.5×0.2×0.1cm（2点組）

57
吉田 哲也
Untitled
1999年
針金
0.9×21.0×0.1cm

58
吉田 哲也
Untitled
1999年
針金
0.9×22.0×0.1cm

59
吉田 哲也
Untitled
1999年
石膏
5.0×13.5×5.4cm

60
吉田 哲也
Untitled
1999年
石膏
2.0×11.2×5.0cm

61
北山 善夫
なにかのなかに
1981年
ミクストメディア
30.0×60.0×25.0cm

62
若林 奮
立体ノート－気体・固体・液体・現在 I
1973年
木、グワッシュ、インク
5.5×35.1×14.9cm

63
若林 奮
立体ノート－気体・固体・液体・現在 II
1974年
木、鉄
15.3×21.5×15.1cm

64
若林 奮
立体ノート－気体・固体・液体・現在 III
1974年
木、グワッシュ
8.0×35.2×15.0cm

65
若林 奮
立体ノート－気体・固体・液体・現在 IV
1974年
木
19.7×24.0×19.3cm

66
若林 奮
立体ノート－気体・固体・液体・現在 V
1974年
木、グワッシュ、インク
21.3×13.0×14.0cm

67
若林 奮
立体ノートー気体･固体･液体･現在 VI
1974年
木、グワッシュ、インク
17.0×23.3×16.9cm

68
若林 奮
立体ノートー気体･固体･液体･現在 VII
1974年
木、インク
6.5×6.7×40.1cm

69
若林 奮
立体ノートー気体･固体･液体･現在 VIII
1974年
木、グワッシュ
14.0×19.0×6.8cm

70
篠田 守男
テンションとコンプレッション 27
1959年
真鍮、鉄、木
30.0×20.0×14.0cm

71
イケムラレイコ
きつねヘッド
2010年
陶
18.0×27.0×11.0cm

72
イケムラレイコ
黒に浮かぶ
1998-99年
油彩、カンヴァス
120.5×120.5cm

73
イケムラレイコ
黒に舞う
1998-99年
油彩、カンヴァス
120.0×120.0×5.0cm

74
グスタフ・クリムト
オイゲニア･プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

75
ダゴベルト・ペッヒェ
ダフネ
1914年頃
紙に印刷
498.0×50.0cm

76
ダゴベルト・ペッヒェ
星空
1914年頃
紙に印刷
646.5×500.0cm

77
マックス・シュミット社
フライズ織見本帳 1
製作：1912年
45.5×32.5×8.0cm

78
マックス・シュミット社
フライズ織見本帳 2
製作：1912年
46.0×34.0×9.0cm

79
ウィーン工房
ハンドバッグの留め金のデザイン
制作年不詳
鉛筆、色鉛筆、紙
21.2×27.0cm

80
ウィーン工房
ハンドバッグの留め金のデザイン
制作年不詳
鉛筆、色鉛筆、紙
21.4×27.2cm

81
ウィーン工房
ハンドバッグの留め金のデザイン
制作年不詳
鉛筆、色鉛筆、紙
21.4×27.2cm

82
ウィーン工房
ハンドバッグの留め金のデザイン
制作年不詳
鉛筆、色鉛筆、紙
21.3×27.1cm

83
ウィーン工房
ハンドバッグのデザイン
制作年不詳
鉛筆、色鉛筆、紙
21.3×26.9cm

84
ウィーン工房
ハンドバッグのデザイン
制作年不詳
鉛筆、色鉛筆、紙
21.2×27.3cm

85
ウィーン工房
ハンドバッグのデザイン
制作年不詳
鉛筆、色鉛筆、紙
21.0×27.5cm

86
ウィーン工房
ハンドバッグのデザイン
制作年不詳
鉛筆、色鉛筆、紙
21.1×27.4cm

87
マリア・リカルツ
壁紙「再会」
1924年以前
水彩、トレーシングペーパー
97.2×46.6cm

88
ウィーン工房
壁紙のデザイン
制作年不詳
水彩、紙
44.0×45.2cm

89
ウィーン工房
壁紙のデザイン
制作年不詳
水彩、色鉛筆、インク、紙
15.1×38.6cm

90
ウィーン工房
壁紙のデザイン
制作年不詳
水彩、インク、紙
36.8×36.8cm

91
マティルデ･フレークル
THAYA
1928年頃
鉛筆、トレーシングペーパー
18.1×22.7cm

92
ウィーン工房
月の山
制作年不詳
インク、トレーシングペーパー
16.0×18.8cm

93
ウィーン工房
テキスタイルのデザイン
制作年不詳
インク、グラシン紙
18.7×15.9cm

94
ウィーン工房
テキスタイルのデザイン
制作年不詳
インク、グラシン紙
20.0×19.2cm

95
マティルデ･フレークル
イザール川
1928年頃
鉛筆、トレーシングペーパー
26.6×22.1cm

96
ウィーン工房
テキスタイルのデザイン
制作年不詳
鉛筆、トレーシングペーパー
28.3×19.2cm

97
ユリウス・ジンペル
仏
制作年不詳
鉛筆、トレーシングペーパー
22.8×20.4cm

98
マリア・リカルツ
ヴェローナ
1924年
水彩、紙
20.0×24.8cm

99
マリア・リカルツ
ヴェローナ
1924年
水彩、紙
20.0×24.8cm

100
マリア・リカルツ
生意気
1924年
水彩、紙
20.4×6.5cm

101
マリア・リカルツ
生意気
1924年
水彩、紙
20.5×6.5cm

102
マリア・リカルツ
生意気
1924年
水彩、紙
20.4×6.5cm

103
マリア・リカルツ
生意気
1924年
水彩、紙
20.5×6.3cm

104
マリア・リカルツ
生意気
1924年
水彩、紙
20.6×6.5cm

105
マリア・リカルツ
生意気
1924年
水彩、紙
20.5×6.5cm

106
マリア・リカルツ
生意気
1924年
水彩、紙
20.6×6.5cm

107
マリア・リカルツ
生意気
1924年
水彩、紙
20.7×6.4cm

108
マリア・リカルツ
生意気
1924年
水彩、紙
23.0×8.1cm

109
マティルデ・フレークル
花垣
1910-19年
水彩、紙
20.6×6.5cm

110
マティルデ・フレークル
花垣
1910-19年
水彩、紙
20.2×6.5cm

111
マティルデ・フレークル
花垣
1910-19年
水彩、紙
19.4×6.5cm

112
マティルデ・フレークル
花垣
1910-19年
水彩、紙
20.5×6.4cm

113
マティルデ・フレークル
花垣
1910-19年
水彩、紙
20.2×6.5cm

114
マティルデ・フレークル
花垣
1910-19年
水彩、紙
20.3×6.5cm

115
ダゴベルト・ペッヒェ
オルフェウス
1911-13年
水彩、紙
19.3×6.5cm

116
ダゴベルト・ペッヒェ
オルフェウス
1911-13年
水彩、紙
20.3×6.5cm

117
ダゴベルト・ペッヒェ
オルフェウス
1911-13年
水彩、紙
20.3×6.5cm

118
ダゴベルト・ペッヒェ
オルフェウス
1911-13年
水彩、紙
20.3×6.5cm

119
ダゴベルト・ペッヒェ
タチジャコソウ
1911-17年
水彩、紙
6.5×15.8cm

120
ダゴベルト・ペッヒェ
タチジャコソウ
1911-17年
水彩、紙
6.5×15.8cm

121
ダゴベルト・ペッヒェ
タチジャコソウ
1911-17年
水彩、紙
6.5×15.9cm

122
ダゴベルト・ペッヒェ
タチジャコソウ
1911-17年
水彩、紙
6.5×15.9cm

123
ダゴベルト・ペッヒェ
タチジャコソウ
1911-17年
水彩、紙
7.2×16.0cm

124
ウィーン工房
リボンのデザイン
制作年不詳
水彩、インク、紙
3.6×20.0cm

125
ウィーン工房
リボンのデザイン
制作年不詳
水彩、インク、紙
3.6×20.0cm

126
ウィーン工房
リボンのデザイン
制作年不詳
水彩、インク、紙
2.3×20.0cm

127
ウィーン工房
リボンのデザイン
制作年不詳
水彩、インク、紙
4.0×20.0cm

128
ウィーン工房
リボンのデザイン
制作年不詳
水彩、インク、紙
2.0×20.0cm

129
ウィーン工房
リボンのデザイン
制作年不詳
水彩、インク、紙
2.8×20.0cm

130
ウィーン工房
レースのデザイン
制作年不詳
色鉛筆、紙
5.5×9.2cm

131
ウィーン工房
レースのデザイン
制作年不詳
色鉛筆、紙
4.5×9.2cm

132
ウィーン工房
レースのデザイン
制作年不詳
色鉛筆、紙
3.7×10.4cm

133
ウィーン工房
レースのデザイン
制作年不詳
色鉛筆、紙
4.5×10.5cm

134
ウィーン工房
レースのデザイン
制作年不詳
色鉛筆、紙
5.4×14.3cm

135
ウィーン工房
レースのデザイン
制作年不詳
色鉛筆、紙
5.2×21.0cm

136
ウィーン工房
レースのデザイン
制作年不詳
色鉛筆、紙
7.1×15.2cm

開館30周年記念コレクション展
VISION 星と星図
星図Ⅲ：それぞれの実存

2026年1月6日［月］−3月15日［日］
62日間
展示室1-5

「星と星図」第Ⅲ期は、「それぞれの実存」と題して全体を構成。展示室1において、当館開館前後にあたる1980年代から2000年代にかけて活動を展開した作家たちの作品を紹介し、消費社会を経て1995年を境に大きく社会が変化していくなかでの私たちのリアルに焦点を当てた。またそれぞれの時代の最新技術を用いながら、人間の実存に迫るものとして、展示室2では1997年に同室にあわせて展示収蔵した宮島達男《カウンター・ルーム》を、展示室4では、当館企画展に参加経験のある平川紀道が同室にあわせて構想した作品を展示した。展示室3では、今年度新収蔵したゲルハルト・リヒター《8枚のガラス》を既存コレクションとあわせて紹介、最後の展示室5では、当館が所蔵する近代美術の作品を中心に、その戦後への展開も含めて紹介し、近代国家が成立するなか自我を問い、戦争体験を経て、いっそう切実に人間存在を問うことになった作家たちの活動に焦点を当てた。



チラシ

観覧料： 一般300円［250円］／高校・大学生200円［150円］／中学生以下無料
＊［ ］内は20名以上の団体料金　＊障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学の高校生、豊田市内在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）及び豊田市内在住の満70歳以上の方は無料［要証明］
主催： 豊田市美術館
出品点数： 60点
観覧者数： 23,936人


展示風景


展示風景


展示風景

関連事業：

▌講演会
「ゲルハルト・リヒター全解：レイヤー、レディメイド、そしてトラウマ」
講師：清水穣（美術評論家）
日時：1月17日［土］午後2時−3時30分
会場：美術館講堂

▌担当学芸員による新収蔵作品のギャラリートーク
日時：2月8日［日］、3月8日［日］
いずれも午後3時−3時30分
会場：展示室1、3

▌作家トーク
講師：平川紀道（出品作家）
日時：3月7日［土］午後3時−4時30分
会場：美術館講堂

▌作家トーク
講師：会田誠（出品作家）
日時：3月14日［土］午後3時−4時30分
会場：美術館講堂

▌講演会
「ゲルハルト・リヒターと河原温」
講師：平出隆（詩人、多摩美術大学名誉教授）
日時：3月15日［日］午後2時−3時30分
会場：美術館講堂

印刷物：
チラシ：A4判
ギャラリーガイド：A4判／6ページ
グラフィックデザイン： Calamari Inc.
作品展示： ヤマト運輸株式会社、HIGURE 17-15 cas株式会社（展示室2）、岡建工事株式会社（ゲルハルト・リヒター《8枚のガラス》）
会場設営： 株式会社中央工芸（展示室2、4）
学芸担当： 千葉真智子、鈴木俊晴、石田大祐、亀山裕亮
庶務担当： 籠谷明日香、大原右子

展示室1

01
小沢 剛
なすび画廊ー会田誠展
1994年
牛乳箱、アクリル、カンヴァス
250.0×200.0×125.0cm
寄託作品

02
中村 一美
湿潤気候の樹林 II
1984年
油彩、カンヴァス
194.0×150.0cm

03
佐川 晃司
半面性の樹塊 No.20
1995年
油彩、カンヴァス
218.2×291.0cm

04
岡崎 乾二郎
711 6692 Takaban
1982/2014年
アクリル、顔料、ポリプロピレン
28.5×19.0×21.0cm
寄託作品

05
中原 浩大
無題 (レゴ・モンスター)
1990年
レゴブロック
280.0×320.0×210.0cm

06
石原 友明
I. S. M. (H)
1989年
発泡スチロール、牛革
115.0×110.0×180.0cm

07
奈良 美智
Walk on I
1993年
アクリル、カンヴァス
100.0×75.0cm
寄託作品

08
村上 隆
R. P. (ランドセル・プロジェクト)
1991年
コブラの皮革、タテゴトアザラシ (毛付) の皮革、タテゴトアザラシの皮革、イワシクジラの皮革、ダチョウの皮革、カイマンワニの皮革、カバの皮革、ヨシキリザメの皮革
各30.0×23.0×20.0cm (8点組)

09
福田 美蘭
SHEAFFER
1996年
アクリル、パネル
227.2×181.8cm

10
松井 紫朗
Carved Goblet with Four Masses
1984年
木
175.0×160.0×160.0cm

11
大岩 オスカール
フラワー
1995年
アクリル、コーヒー、合板
182.0×364.0cm

12
イケムラレイコ
マロヤ湖のスキーヤー
1990年
アクリル、カンヴァス
120.0×94.0cm

13
丸山 直文
仮象 (I)
1993年
アクリル、綿布
183.5×259.5cm

14
山口 啓介
分蜂
1998年
植物、膠、顔料、シルクスクリーン、カンヴァス
250.0×197.0×5.0cm

15
青木 野枝
Untitled
1984年
鉄
180.0×120.0×80.0cm

16
須田 悦弘
雑草
2000年
木
サイズ可変

展示室2

17
宮島 達男
カウンター・ルーム
1989-96年
発光ダイオード、IC、電線、アルミニウムパネル
18.0×680.0×680.0cm

展示室3

18
河原 温
OCT. 21, 1981
Todayシリーズ (1966-2013) より
1981年
アクリル、カンヴァス
45.5×61.5×4.0cm

19
河原 温
JUNE 30, 1978
Todayシリーズ (1966-2013) より
1978年
アクリル、カンヴァス
25.5×33.0×4.0cm

20
ゲルハルト・リヒター
8枚のガラス
2012年
アンテリオ・ガラス、鉄
230.0×160.0×350.0cm

21
ゲルハルト・リヒター
ストリップ (927-10)
2012年
デジタルプリント、紙、アルディボンド、パースペックス (ディアセック)
ゲルハルト・リヒター芸術財団 (エキシビション・コピー)

22
ピエロ・マンゾーニ
無色
1958/59年
カオリン、襞のあるカンヴァス
80.0×60.0cm

23
ブリンキー・パレルモ
無題 (セロニアス・モンクに捧げる)
1973年
合板、塗料 (黒)、鏡
22.2×89.6×3.2cm

24
ギュンター・ユッカー
変動する白の場
1965年
釘、カンヴァス、木、アクリル
150.0×150.0cm

25
松澤 宥
白色円形根本絵画
制作年不詳
印刷、紙
36.6×27.8cm
個人蔵

26
スタンリー・ブラウン
1×1フット上の1/10×1/10エル
1991年
アルミニウムシート
26.0×26.0×0.1cm

27
スタンリー・ブラウン
1×1フット上の1/10×1/10メートル
1991年
アルミニウムシート
26.0×26.0×0.1cm

28
スタンリー・ブラウン
1×1フット上の1/10×1/10ステップ
1991年
アルミニウムシート
26.0×26.0×0.1cm

29
ジェームズ・リー・バイヤーズ
球形の本 ("Q Is Point")
1990年
大理石
68.0×68.0×68.0cm

展示室4

30
平川 紀道
sunlight spectrum sonification
2024年
ヴィデオ・インスタレーション
サイズ可変

31
平川 紀道
habitable zone [TRAPPIST-1]
2024年
インクジェットプリント
各61.0×61.0cm (4点組)

32
平川 紀道
16 unknowns and the irreversible

2024年
ヴィデオ・インスタレーション
サイズ可変

展示室5

33
岸田 劉生
鯰坊主
1922年
油彩、板
41.1×31.5cm

34
藤田 嗣治
自画像
1943年
油彩、カンヴァス
23.0×15.0cm

35
香月 泰男
里芋
1959年
油彩、カンヴァス
41.0×24.3cm

36
堂本 尚郎
連続の溶解 1963-60
1963年
金箔、油彩、カンヴァス
130.0×91.0cm

37
大野 俶嵩
サケサック No. 45
1965年
綿、綿布袋（酒袋）、顔料
118.0×91.0cm

38
猪熊 弦一郎
都市概念
1966年
油彩、カンヴァス
194.0×112.0cm

39
ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1962年
油彩、カンヴァス
129.0×97.0cm

40
アルベルト・ブッリ
赤 プラスチック
1964年
燃焼、プラスチック、カンヴァス
60.0×50.0cm

41
ジャン・デュビュッフェ
存在の漏出
1950年
油彩、イゾレル
55.0×46.0cm

42
フランシス・ベーコン
スフィンクス
1953年頃
油彩、カンヴァス
151.0×116.0cm

43
ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩、カンヴァス
116.0×81.1cm

44
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.9×110.5×2.7cm

45
エゴン・シーレ
アルトゥール・レスラーの肖像
1914年（1922年刷）
ドライポイント、紙
24.2×32.0cm

46
エゴン・シーレ
自画像
1914年（1922年刷）
ドライポイント、紙
22.0×18.0cm

47
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

48
アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの胸像
1954年
ブロンズ
39.5×33.0×19.0cm

49
メダルド・ロッソ
門番女
1883-84年
ブロンズ
38.0×35.0×16.0cm

50
マックス・クリンガー
ミューズの頭部
1890年以前
大理石に着色
17.5×34.5×23.2cm

51
横山 大観
帰牧
1905年
膠彩、絹布
115.0×50.5cm

52
菱田 春草
春色
1905年
膠彩、絹布
70.9×49.4cm

53
小茂田 青樹
芍薬
1925年
膠彩、絹布
127.0×43.0cm

54
入江 波光
草園
1925-26年頃
膠彩、絹布
136.5×42.2cm

55
冨田 溪仙
吉野彩雨
1926年
墨、膠彩、絹布
128.3×42.0cm

56
村上 華岳
山澗含春図
1936年
墨、膠彩、紙
74.4×30.8cm

57
小嶋 悠司
地
1978年
膠彩、デトランプ、金箔、カンヴァス
150.0×260.5cm

58
三上 誠
作品
1965-68年頃
顔料、インク、紙
115.0×150.0cm

59
若林 奮
熱変へ II (3rd Stage)
1965, 90年
鉄
101.0×30.0×42.0cm

60
水谷 勇夫
神と獣 No.10
1965年
膠彩、紙、カンヴァス
116.5×91.3cm

モネ ― 睡蓮のとき

2025年6月21日［土］― 9月15日［月・祝］
77日間
展示室8

印象派を代表する画家クロード・モネ（1840-1926）の仕事について、パリのマルモッタン・モネ美術館の協力を得て、円熟期の良作約50点を紹介する展示を実現した。モネが終の棲家としたジヴェルニーの邸宅に造られた庭園を描いた最初期の睡蓮の連作や、「大装飾画」を計画して描いた草花、そして「大装飾画」と深いつながりをもつ大画面の睡蓮、さらに目を病んでなお筆遣い色遣いをさまざまに試しながら続けた最晩年の連作など、重要作品を紹介する展覧会となった。



ポスター

観覧料： 当日券：一般2,300円／大学生1,400円／高校生以下無料
7月平日限定　早割セット券（モネ展×エジプト展）：一般3,800円
6月・7月平日限定、早割券：一般1,900円／大学生1,000円、早割券：一般2,100円／大学生1,200円
＊障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学の高校生、豊田市内在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）及び豊田市内在住の満70歳以上の方は無料［要証明］
＊大学生無料期間：6月21日［土］－7月4日［金］
主催： 豊田市美術館、マルモッタン・モネ美術館、中京テレビ放送
後援： 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ
特別協賛： 大成建設
協賛： 第一生命グループ、光村印刷
協力： 日本貨物航空、NX 日本通運
豊田展協力： あいち豊田農業協同組合
企画協力： NTVヨーロッパ
出品点数： 54点
観覧者数： 192,519人


展示風景


展示風景



展示風景

関連事業：

▎講演会
「マルモッタン・モネ美術館の歴史－コレクターたちの美術館」
講師：シルヴィ・カルリエ（マルモッタン・モネ美術館コレクション部長、本展監修者）
日時：6月21日［土］午後2時－3時30分
会場：美術館講堂

▎睡蓮のとき　モネのまなざし
講師：石田大祐（当館学芸員）
日時：7月6日［日］午前10時30分－12時
会場：中日文化センター栄
主催：中日文化センター

▎30周年コレクション展＆「モネ 睡蓮のとき」を楽しむ～作家にまつわるいくつかの物語～
講師：石田大祐（当館学芸員）
日時：7月13日［日］午前10時15分－12時
会場：豊田市中央図書館　6階　多目的ホール
主催：豊田市中央図書館

▎か～るくラシック♪スペシャル版　豊田市美術館「モネ　睡蓮のとき」連携事業　名画×名曲　～ひたる。モネに。音楽に。～
演奏：寺本みなみ（ピアノ）、寺本みずほ（ヴァイオリン）
話者：高橋秀治（当館館長）
日時：7月23日［水］午後2時－4時
会場：豊田市コンサートホール
主催：文化振興課（公益財団法人豊田市文化振興財団）

▎館長・担当学芸員によるスライドトーク
講師：①④⑤高橋秀治（当館館長）、②③⑥石田大祐（当館学芸員）
日時：①8月21日［木］、②8月22日［金］、③8月26日［火］、④8月27日［水］、⑤8月28日［木］、⑥8月29日［金］
いずれも午後1時15分－1時45分
会場：美術館講堂

印刷物：
ポスター：B1判、B2判
チラシ：A3判二つ折り
こどもギャラリーガイド：A4判三つ折り
作品リスト：A3判二つ折り
カタログ：A4判変型／280ページ
グラフィックデザイン： 松永路
カタログデザイン： 松永路、宇都宮三鈴
作品輸送・展示： 日本通運株式会社
会場設営： 株式会社中央工芸
展示デザイン： 西村美江子
学芸担当： 石田大祐、亀山裕亮
庶務担当： 大柳良輔、大原右子

01
クロード・モネ
ばら色のボート
1890年
油彩、カンヴァス
135.3×176.5cm
ボーラ美術館

02
クロード・モネ
ポール＝ヴィレのセーヌ河、ばら色の効果
1894年
油彩、カンヴァス
52.5×92.4cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

03
クロード・モネ
ポール＝ヴィレのセーヌ河、夕暮れの効果
1894年
油彩、カンヴァス
52.4×92.6cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

04
クロード・モネ
ジヴェルニー近くのセーヌ河支流、日の出
1897年
油彩、カンヴァス
91×93cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ（エフリュシ・ド・ロチルド邸、サン＝ジャン＝キャップ＝フェラより寄託）

05
クロード・モネ
セーヌ河の朝
1898年
油彩、カンヴァス
73×91.5cm
国立西洋美術館

06
クロード・モネ
ヴェトゥイユ
1902年
油彩、カンヴァス
90×93cm
国立西洋美術館（松方コレクション）

07
クロード・モネ
チャーリング・クロス橋
1899-1901年頃
油彩、カンヴァス
60×100cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

08
クロード・モネ
チャーリング・クロス橋、ロンドン
1902年頃
油彩、カンヴァス
65.3×100cm
国立西洋美術館（松方コレクション）

09
クロード・モネ
睡蓮、夕暮れの効果
1897年
油彩、カンヴァス
73×100cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

10
クロード・モネ
睡蓮
1903年
油彩、カンヴァス
81.5×100.5cm
石橋財団アーティゾン美術館

11
クロード・モネ
睡蓮
1903年
油彩、カンヴァス
73×92cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

12
クロード・モネ
睡蓮
1903年
油彩、カンヴァス
89×100cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

13
クロード・モネ
睡蓮（習作）
1907年
油彩、カンヴァス
105×73cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

14
クロード・モネ
睡蓮
1907年
油彩、カンヴァス
100×73cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

15
クロード・モネ
黄色いアイリス
1924-1925年頃
油彩、カンヴァス
130×152cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

16
クロード・モネ
黄色と紫のアイリス
1924-1925年頃
油彩、カンヴァス
106×155cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

17
クロード・モネ
アイリス
1924-1925年頃
油彩、カンヴァス
105×73cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

18
クロード・モネ
キスゲ
1914-1917年頃
油彩、カンヴァス
150×140.5cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

19
クロード・モネ
睡蓮
1914-1917年頃
油彩、カンヴァス
180×200cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

20
クロード・モネ
藤
1919-1920年頃
油彩、カンヴァス
100×300cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

21
クロード・モネ
藤
1919-1920年頃
油彩、カンヴァス
100×300cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

22
クロード・モネ
睡蓮とアガパンサス
1914-1917年頃
油彩、カンヴァス
140×120cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

23
クロード・モネ
アガパンサス
1914-1917年頃
油彩、カンヴァス
200×150cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

24
クロード・モネ
睡蓮
1914-1917年頃
油彩、カンヴァス
200×200cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

25
クロード・モネ
睡蓮
1916-1919年頃
油彩、カンヴァス
150×197cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

26
クロード・モネ
睡蓮
1914-1917年頃
油彩、カンヴァス
130×150cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

27
クロード・モネ
睡蓮
1914-1917年頃
油彩、カンヴァス
130×153cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

28
クロード・モネ
睡蓮
1916-1919年頃
油彩、カンヴァス
200×180cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

29
クロード・モネ
睡蓮の池
1917-1919年頃
油彩、カンヴァス
130×120cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

30
クロード・モネ
睡蓮、柳の反映
1916-1919年頃
油彩、カンヴァス
130×157cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

31
クロード・モネ

睡蓮、柳の反映
1916-1919年頃
油彩、カンヴァス
200×200cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

32
クロード・モネ
睡蓮、柳の反映
1916-1919年
油彩、カンヴァス
130×197.7cm
北九州市立美術館

33
クロード・モネ
睡蓮の池
1918-1919年頃
油彩、カンヴァス
73×105cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

34
クロード・モネ
日本の橋
1918年
油彩、カンヴァス
100×200cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

35
クロード・モネ
日本の橋
1918年
油彩、カンヴァス
100×200cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

36
クロード・モネ
日本の橋
1918-1919年頃
油彩、カンヴァス
74×92cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

37
クロード・モネ
日本の橋
1918-1924年頃
油彩、カンヴァス
89×100cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

38
クロード・モネ
日本の橋
1918-1924年頃
油彩、カンヴァス
89×100cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

39
クロード・モネ
日本の橋
1918-1924年頃
油彩、カンヴァス
89×100cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

40
クロード・モネ
日本の橋
1918-1924年頃
油彩、カンヴァス
89×100cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

41
クロード・モネ
日本の橋
1918-1924年頃
油彩、カンヴァス
89×116cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

42
クロード・モネ
枝垂れ柳
1918-1919年頃
油彩、カンヴァス
100×120cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

43
クロード・モネ
枝垂れ柳
1918-1919年頃
油彩、カンヴァス
100.5×100.5cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

44
クロード・モネ
枝垂れ柳
1921-1922年頃
油彩、カンヴァス
116×89cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

45
クロード・モネ
ジヴェルニーの庭
1922-1926年頃
油彩、カンヴァス
93×74cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

46
クロード・モネ
ばらの小道、ジヴェルニー
1920-1922年頃
油彩、カンヴァス
89×100cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

47
クロード・モネ
ばらの小道
1920-1922年頃
油彩、カンヴァス
90×92cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

48
クロード・モネ
ばらの小道
1920-1922年頃
油彩、カンヴァス
92×89cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

49
クロード・モネ
ばらの庭から見た画家の家
1922-1924年頃
油彩、カンヴァス
89×92cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

50
クロード・モネ
ばらの庭から見た家
1922-1924年頃
油彩、カンヴァス
81×93cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

51
クロード・モネ
ばらの庭から見た家
1922-1924年頃
油彩、カンヴァス
81×92cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

52
クロード・モネ
ばらの庭から見た家
1922-1924年頃
油彩、カンヴァス
89×100cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

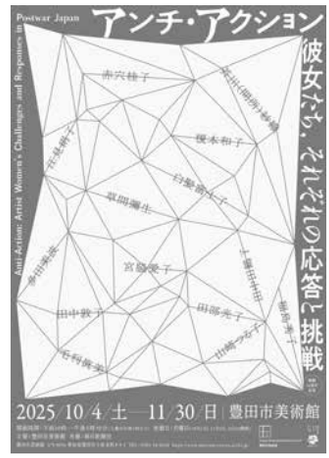
53
クロード・モネ
枝垂れ柳と睡蓮の池
1916-1919年頃
油彩、カンヴァス
200×180cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

54
クロード・モネ
睡蓮
1916-1919年頃
油彩、カンヴァス
200×180cm
マルモッタン・モネ美術館、パリ

アンチ・アクション
彼女たち、それぞれの応答と挑戦

2025年10月4日［土］— 11月30日［日］
53日間
展示室6-8

新しい時代を象徴していた女性の美術家は、なぜ歴史から姿を消してしまったのか。
戦後日本では、「アンフォルメル」や「アクション・ペインティング」と呼ばれた抽象美術が一世を風靡し、数々の女性美術家が注目された。しかし、力強さや豪快さといった、男性性と結びつきやすいアクションが評価の中心になるにつれ、結果的に多くの女性美術家の作品が見落とされていくこととなった。
本展では、中嶋泉氏を学術協力に迎え、そのジェンダー研究を足がかりに、1950-60年代の日本の女性美術家による創作を「アンチ・アクション」（中嶋泉、2019年、同名書より）の観点から見直した。会場には、草間彌生、田中敦子、福島秀子ら14名の美術家の作品100点を展示し、「彼女たち」のアクションへのそれぞれの応答と独自の挑戦を紹介した。



ポスター

観覧料： 一般1,500円［1,300円］／高校・大学生1,000円［800円］／中学生以下無料
＊［ ］内は前売券、20名以上の団体及びオンラインチケット料金　＊障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学の高校生、豊田市内在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）及び豊田市内在住の75歳以上の方は無料［要証明］
主催： 豊田市美術館
共催： 朝日新聞社
学術協力： 中嶋泉（大阪大学大学院文学研究科准教授）
出品点数： 100点
観覧者数： 13,243人


展示風景


展示風景


展示風景

関連事業：

▎講演会
「『アンチ・アクション』とは何か」
講師：中嶋泉（本展学術協力者）
日時：10月26日［日］午後2時－3時30分
会場：美術館講堂

▎巡回3館キュレータートーク
講師：成相肇（東京国立近代美術館主任研究員）、江上ゆか（兵庫県立美術館学芸員）、千葉真智子（当館学芸員）
日時：11月9日［日］午後2時－3時30分
会場：美術館講堂

▎担当学芸員によるギャラリートーク
日時：11月16日［日］午前11時30分－12時30分
会場：展示室6-8

印刷物：
ポスター：B1判、B2判
チラシ：A4判
ギャラリーガイド：A3判／両面刷り
ZINE：文庫サイズ、14冊
カタログ：B5判／289ページ
グラフィックデザイン： 松田洋和
カタログデザイン： 山本誠
作品輸送・展示： 株式会社カトーレック
会場設営： 株式会社中央工芸
学芸担当： 千葉真智子、鈴木俊晴
庶務担当： 籠谷明日香、大原右子

AK-01
赤穴 桂子
埋もれた貝と骨
1954年
油彩、カンヴァス
90.7×72.7cm
個人蔵

AK-02
赤穴 桂子
スペースに於ける物体
1958年
油彩、カンヴァス
100.0×65.0cm
個人蔵

AK-03
赤穴 桂子
スペースに於ける物体（B）
1958年
油彩、カンヴァス
84.3×80.0cm
個人蔵

AK-04
赤穴 桂子
発生 I
1961年
油彩、紙、カンヴァス
129.0×96.6cm
個人蔵

AK-05
赤穴 桂子
黒の中の四角
1961年
油彩、紙、ボード
60.8×72.6cm
個人蔵

AK-06
赤穴 桂子
[不詳]
1964年頃
油彩、カンヴァス
46.0×60.8cm
個人蔵

AK-07
赤穴 桂子
[不詳]
1964年頃
油彩、カンヴァス
91.0×91.0cm
個人蔵

AS-01
芥川（間所）紗織
女・顔 I
1954年
油彩、麻布
80.3×60.6cm
豊橋市美術博物館

AS-02
芥川（間所）紗織
女・顔 II
1954年
油彩、麻布
80.3×60.6cm
豊橋市美術博物館

AS-03
芥川（間所）紗織
女（I）
1955年
染料、その他、布
129.5×89.0cm
東京国立近代美術館

AS-04
芥川（間所）紗織
女（B）
1955年
染料、その他、布
129.5×88.7cm
東京国立近代美術館

AS-05
芥川（間所）紗織
神話 神々の誕生
1956年
染料、その他、布
162.0×130.0cm
東京国立近代美術館

AS-06
芥川（間所）紗織
スーツを着た男B
1961-62年
油彩、カンヴァス
88.3×58.1cm
NUKAGA GALLERY

AS-07
芥川（間所）紗織
裸婦
1961-62年
油彩、カンヴァス
72.7×60.6cm
NUKAGA GALLERY

AS-08
芥川（間所）紗織
黒と茶
1962年
油彩、カンヴァス
129.5×89.0cm
東京国立近代美術館

AS-09
芥川（間所）紗織
スフィンクス
1964年
油彩、カンヴァス
130.0×162.0cm
東京国立近代美術館

EnK-01
榎本 和子
記憶の時
1951年
油彩、カンヴァス
90.8×65.2cm
横浜美術館（旧・大岡信コレクション［明治大学寄贈］）

EnK-02
榎本 和子
断面（I）
1951年
油彩、カンヴァス
116.5×91.0cm
板橋区立美術館

EnK-04
榎本 和子
構内響音
1953年
鉛筆、パステル、他、紙
37.5×28.5cm
小林秀行氏蔵

EnK-05
榎本 和子
[不詳]
1960年
油彩、板に貼った和紙
53.3×73.0cm
小林秀行氏蔵

EnK-06
榎本 和子
[不詳]
1960年
油彩、板に貼った和紙
53.5×72.7cm
小林秀行氏蔵

EnK-07
榎本 和子
Meditation
1960年
リトグラフ、紙
56.5×45.5cm
小林秀行氏蔵

EmK-01
江見 絹子
いのち
1956年
油彩、カンヴァス
112.8×162.5cm
個人蔵

EmK-02
江見 絹子
推移
1958年
油彩、カンヴァス
110.0x72.8cm
個人蔵

EmK-03
江見 絹子
淵（Abyss）
1960年
油彩、カンヴァス
112.0×160.5cm
奈良県立美術館

EmK-04
江見 絹子
作品 R
1960年
油彩、カンヴァス
130.0×194.0cm
国立国際美術館

EmK-05
江見 絹子
作品
1961年
油彩、カンヴァス
162.5×113.0cm
個人蔵

EmK-06
江見 絹子
作品
1961年
油彩、カンヴァス
227.0×181.0cm
奈良県立美術館

EmK-07
江見 絹子
空間の祝祭
1963年
油彩、カンヴァス
161.9×112.3cm
個人蔵

KY-01
草間 彌生
無題（15）
1952年
水彩、その他、紙
33.8×40.7cm
東京国立近代美術館

KY-06
草間 彌生
中国の岩

1954年
グアッシュ、墨、紙
21.2×28.6cm
東京都現代美術館

KY-07
草間 彌生
No. AB.
1959年
油彩、カンバス
210.3×414.4cm
豊田市美術館

KY-08
草間 彌生
Pacific Ocean
1959年
パステル、グアッシュ、インク、紙
60.3x72.8cm
作家蔵

KY-09
草間 彌生
No. H. Red
1961年
油彩、カンヴァス
157.0×142.0cm
東京国立近代美術館

KY-10
草間 彌生
マカロニ・コート
1963年
ミクストメディア
118.5×80.3×12.0cm
板橋区立美術館

KY-11
草間 彌生
チェア
1965年
詰めもの入り縫製布、木製椅子
90.0×80.0×87.0cm
豊田市美術館

SF-01
白髪 富士子
白い板
1955/1985年
油性塗料、木
393.0×55.0×2.0cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）

SF-02
白髪 富士子
無題
1955年頃
和紙
165.5×89.5cm
国立国際美術館

SF-04
白髪 富士子
作品 No.1
1961年
油彩、和紙、ガラス、カンヴァス
181.5×245.0cm
高松市美術館

TdM-01
多田 美波
変電所
1958年
油彩、カンヴァス
80.1×99.7cm
東京国立近代美術館

TdM-02
多田 美波
変電所
1956年
油彩、カンヴァス
72.7×91.0cm
韮崎大村美術館

TdM-03
多田 美波
炭鉱
1957年
油彩、板
85.5×183.0cm
東京国立近代美術館

TdM-04
多田 美波
[不詳]
1960年頃
油彩、カンヴァス
41.0×25.0cm
多田美波研究所

TdM-05
多田 美波
[ある一つの邂逅]もしくは [作品X]
1960年
油彩、アクリル板、石、カンヴァス
99.0×90.0cm
多田美波研究所

TdM-06
多田 美波
[作品X]もしくは [ある一つの邂逅]
1960年
油彩、テグス、砂、カンヴァス
100.0×91.0cm
多田美波研究所

TdM-07
多田 美波
周波数37303030MC
1963年
アルミニウム
Φ155.0×40.0cm
東京国立近代美術館

TdM-08
多田 美波
周波数37303055MC
1963年
アルミニウム
200.0×300.0×50.0cm
多田美波研究所

TdM-09
多田 美波
周波数37305038MC
1964年
アクリル
14.0×14.5×6.0cm
多田美波研究所

TdM-10
多田 美波
周波数37305047MC
1964年
アクリル
14.0×15.5×6.5cm
多田美波研究所

TdM-11
多田 美波
周波数37305052MC
1964年
アクリル
19.5×18.5×8.0cm
多田美波研究所

TdM-12
多田 美波
周波数37305053MC
1964年
アクリル
20.0×18.0×6.0cm
多田美波研究所

TdM-13
多田 美波
周波数37305054MC
1964年
アクリル
19.0×20.0×9.0cm
多田美波研究所

TdM-14
多田 美波
周波数37305055MC
1964年
アクリル
22.0×23.0×8.0cm
多田美波研究所

TA-01
田中 敦子
作品 (6)
1955年
クレヨン、綿布
81.7×62.3cm
東京都現代美術館

TA-02
田中 敦子
無題
1956年
オイルパステル、水彩、紙
77.2×55.0cm
兵庫県立美術館

TA-03
田中 敦子
無題
1956年
オイルパステル、油性インク、水性インク、紙
109.5×77.0cm
兵庫県立美術館

TA-10
田中 敦子
無題
1957年
油性インク、水性インク、紙
109.3×79.3cm
兵庫県立美術館

TA-11
田中 敦子
作品
1957年
合成樹脂エナメル塗料、油彩、合板
130.0×92.0cm
奈良県立美術館

TA-12
田中 敦子
作品
1959年
合成樹脂エナメル塗料、カンヴァス
164.0×132.0cm
兵庫県立美術館

TA-14
田中 敦子
Work 1963 B
1963年
合成樹脂エナメル塗料、カンヴァス
162.2×133.5cm
豊田市美術館

TA-15
田中 敦子
地獄門
1965-69年
ビニール塗料、アクリル、カンヴァス
331.5×245.5cm
国立国際美術館

TA-16
田中 敦子
作品 66-SA
1966年
ビニール樹脂、カンヴァス
193.8×130.8cm
東京国立近代美術館

TT-01
田中 田鶴子
無 II
1960年
油彩、カンヴァス
89.5×130.0cm
東京国立近代美術館

TT-02
田中 田鶴子
No.28 Festival 2
1961年頃
油彩、カンヴァス
72.7×72.7cm
奈良県立美術館

TT-03
田中 田鶴子
無
1961年頃
油彩、カンヴァス
102.3×134.3cm
奈良県立美術館

TbM-01
田部 光子
繁殖する (1)
1958-88年
油彩、アスファルト、石膏、竹、板
91.4×130.3cm
福岡市美術館

TbM-02
田部 光子
繁殖する (2)
1958-88年
油彩、アスファルト、石膏、竹、板
92.2×130.0cm
福岡市美術館

TbM-03
田部 光子
作品
1962年
ピンポン玉、紙 (襖)
170.0×174.6×5.0cm
福岡市美術館

TbM-04
田部 光子
ああ!寺山修司
1966年
アクリル、印刷物、カンヴァス
72.5×90.8cm
福岡市美術館

TbM-05
田部 光子
[不詳]
1967-68年頃
インク、印刷物、紙
54.0×38.0cm
福岡市美術館

TbM-06
田部 光子
[不詳]
1967-68年頃
インク、紙
54.0×38.0cm
福岡市美術館

TbM-07
田部 光子
[不詳]
1967-68年頃
インク、紙
54.0×38.0cm
福岡市美術館

TbM-08
田部 光子
[不詳]
不詳
インク、紙
25.2×18.6cm
福岡市美術館

FH-01
福島 秀子
MP
1950年
油彩、カンヴァス
39.0×34.0cm
個人蔵

FH-02
福島 秀子
人
1952年
油彩、カンヴァス
41.0×32.0cm
東京都現代美術館

FH-05
福島 秀子
無題
1954年
水彩、紙
34.0×27.0cm
東京国立近代美術館

FH-07
福島 秀子
黒い説話
1955年
水彩、和紙
26.3×34.5cm
東京都現代美術館

FH-09
福島 秀子
無題
1956年
水彩、紙
37.0×24.0cm
東京国立近代美術館

FH-11
福島 秀子
ささげもの
1957年
油彩、カンヴァス
72.7x60.6cm
筑波大学アート・コレクション(石井昭氏寄贈)

FH-12
福島 秀子
ホワイトノイズ
1959年
油彩、カンヴァス
130.5×92.0cm
栃木県立美術館

FH-13
福島 秀子
作品5
1959年
油彩、カンヴァス
182.4×259.3cm
千葉市美術館

MA-01
宮脇 愛子
作品4
1959年
油彩、大理石粉、パネル
98.0×164.0cm

MA-02
宮脇 愛子
無題
1959-60年
水彩、フロッタージュ、紙
22.0×32.5cm

MA-03
宮脇 愛子
Work
1960-61年
油彩、大理石粉、合板
130.5×97.0cm
東京国立近代美術館

MA-04
宮脇 愛子
作品
1962年
油彩、大理石粉、パネル
73.0×91.0cm

MA-05
宮脇 愛子
作品
1964年
油彩、大理石粉、鏡、パネル
162.0×242.8cm
公益財団法人アルカンシエール美術財団／原美術館コレクション

MA-06
宮脇 愛子
作品
1967年
真鍮
47.5×49.5×12.0cm

MA-07
宮脇 愛子
作品
1968年
真鍮
154.5×35.7×12.0cm
東京国立近代美術館

MM-01
毛利 眞美
無題
1950-55年頃
油彩、カンヴァス
116.5×91.0cm
東京国立近代美術館

MM-02
毛利 眞美
無題
1950年代
油彩、カンヴァス
91.5×116.5cm
石橋財団アーティゾン美術館

MM-03
毛利 眞美
裸婦 (B)
1957年
油彩、カンヴァス
130.0×89.0cm
東京国立近代美術館

MM-04
毛利 眞美
無題
1957年
油彩、カンヴァス
116.8×73.5cm

石橋財団アーティゾン美術館

MM-05
毛利 眞美
無題
1960年代
油彩、カンヴァス
100.0×82.0cm
個人蔵

YT-01
山崎 つる子
作品
1957/2001年
ブリキ、木、照明
145.0×185.0×41.0cm
芦屋市立美術博物館

YT-02
山崎 つる子
作品
1958年
塗料、布
162.5×138.0cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）

YT-03
山崎 つる子
作品
1960年
合成樹脂塗料、布
162.3×137.5cm
兵庫県立美術館

YT-04
山崎 つる子
作品
1961年
合成樹脂塗料、布、板
182.5×139.0cm
兵庫県立美術館

YT-05
山崎 つる子
作品
1962年
合成樹脂塗料、布、板
149.7×183.3cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）

YT-06
山崎 つる子
作品
1963年
合成樹脂塗料、布、板
153.0×183.3cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）

YT-07
山崎 つる子
作品
1964年
ビニール塗料、綿布、板
183.0×137.5cm
芦屋市立美術博物館

没後50年　髙島野十郎展

2026年1月6日［火］−3月15日［日］
62日間
展示室8

髙島野十郎（1890-1975）は、福岡県久留米市に生まれ、旧制第八高等学校（現名古屋大学）を経て東京帝国大学（現東京大学）を卒業後、絵かきの道を選び、独自の写実的筆致で描いた、近年、全国的に知られる存在となった洋画家である。没後50年という節目に福岡県立美術館の企画・監修のもと開催した本展ではこれまで「孤高の画家」と呼ばれてきた彼の芸術が形成されたルーツを遡り、作品に通底する仏教的思想を読み解きつつ、従来の展覧会ではそれほど大きく取り上げられることがなかった部分にもスポットを当てた4つの章で構成した。
愛知にゆかりのある画家であるにもかかわらず、これまで東海地区では髙島野十郎展が開催されてこなかった。初公開作品や、岸田劉生など関連作家も含め過去最高規模となった本展が東海地区初開催となった。
本展は地方の美術館が半世紀にわたり地道に調査と収集を継続してきた成果でもあり、美術館の基本的な役目も紹介する好機となった。



ポスター

観覧料： 一般1,500円［1,300円］／高校・大学生1,000円［800円］／中学生以下無料
＊［　］内は前売券、20名以上の団体及びオンラインチケット料金　＊障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学の高校生、豊田市内在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）及び豊田市内在住の75歳以上の方は無料［要証明］
主催： 豊田市美術館、毎日新聞社
共催： 中日新聞社
協賛： 大和ハウス工業
協力： ブルーミング中西
出品点数： 182点
観覧者数： 30,539人


展示風景


展示風景


展示風景

関連事業：

▎講演会
「髙島野十郎の作品世界、その魅力について」
講師：高山百合（福岡県立美術館学芸員）
日時：1月18日［日］午後2時−3時30分
会場：美術館講堂

▎講演会
「髙島野十郎の謎をめぐって」
講師：西本匡伸（福岡県立美術館特任学芸員）
日時：2月22日［日］午後2時−3時30分
会場：美術館講堂

▎担当学芸員によるギャラリートーク
日時：1月17日［土］、2月1日［日］、2月21日［土］
いずれも午前11時−12時
会場：展示室8

印刷物：
ポスター：B1判、B2判
チラシ：A4判、2種
作品リスト：A4判／8ページ
カタログ：B4判変形／ 256ページ
グラフィックデザイン： 伊藤敦志（AIRS）
カタログデザイン： 坂本佳子（大向デザイン事務所）
作品輸送・展示： ヤマト運輸株式会社
会場設営： 株式会社ニホンディスプレイ
学芸担当： 成瀬美幸、西崎紀衣
庶務担当： 大柳良輔

プロローグ　野十郎とはだれか

01
髙島 野十郎
絡子をかけたる自画像
1920年
油彩、画布
52.5×45.1cm
福岡県立美術館

02
髙島 野十郎
壺とりんご
1923年
油彩、画布
41.1×53.0cm
福岡県立美術館

03
髙島 野十郎
蝋燭
1912-26年
油彩、板
22.7×15.6cm
福岡県立美術館

04
髙島 野十郎
イーストリバーとウィリアムズブリッジ
1930年
油彩、画布
40.0×52.0cm
福岡県立美術館

05
髙島 野十郎
ノートルダムとモンターニュ通 II
1932年頃
油彩、画布
60.2×49.2cm
福岡県立美術館

06
髙島 野十郎
からすうり
1935年
油彩、画布
61.0×45.2cm
福岡県立美術館

07
髙島 野十郎
洋梨とブドウ
1941年
油彩、画布
40.9×53.0cm
福岡県立美術館

08
髙島 野十郎
渓流
1946年
油彩、画布
45.3×60.4cm
福岡県立美術館

09
髙島 野十郎
すいれんの池
1949年
油彩、画布
89.0×129.9cm
福岡県立美術館

10
髙島 野十郎
春の海
1952年
油彩、画布
53.2×72.5cm
福岡県立美術館

11
髙島 野十郎
境内の桜
1955年
油彩、画布
60.6×50.0cm
福岡県立美術館

12
髙島 野十郎
雪晴れ
1958年
油彩、画布
40.8×53.1cm
福岡県立美術館
（展示期間：1月6日−2月8日）

13
髙島 野十郎
初秋野路
1961-70年
油彩、画布
37.8×45.9cm
福岡県立美術館

14
髙島 野十郎
月
1962年
油彩、画布
41.0×31.8cm
福岡県立美術館

15
髙島 野十郎
睡蓮
1965年頃
油彩、画布
59.5×48.5cm
福岡県立美術館

16
髙島 野十郎
こぶしとリンゴ
1966年頃
油彩、画布
45.6×37.7cm
福岡県立美術館

17
髙島 野十郎
御苑の春
1948年以降
油彩、画布
52.9×45.4cm
福岡県立美術館
（展示期間：1月6日−2月8日）

18
髙島 野十郎
落葉焚き
1948年以降
油彩、画布
61.0×50.5cm
福岡県立美術館
（展示期間：2月10日−3月15日）

19
髙島 野十郎
さくら
1948年以降
油彩、画布
50.0×60.3cm
福岡県立美術館

20
髙島 野十郎
壺とりんご
1948年以降
油彩、板
18.3×13.8cm
福岡県立美術館

21
髙島 野十郎
ティーポットのある静物
1948年以降
油彩、画布
41.0×52.7cm
福岡県立美術館

22
髙島 野十郎
春の連峰
1948年以降
油彩、画布（板貼）
31.9×40.3cm
福岡県立美術館
（展示期間：2月10日−3月15日）

23
髙島 野十郎
蝋燭
1948年以降
油彩、板
23.0×15.8cm
福岡県立美術館

24
髙島 野十郎
有明の月
1961年以降
油彩、板
25.5×20.3cm
福岡県立美術館
（展示期間：2月10日−3月15日）

25
髙島 野十郎
太陽
1961年以降
油彩、カンバスボード
21.8×27.2cm
福岡県立美術館

26
髙島 野十郎
けし
1967年以降
油彩、画布
60.8×50.4cm
福岡県立美術館

第1章　時代とともに

27
髙島 野十郎
静物
1918年
油彩、画布
32.8×45.0cm
福岡県立美術館

28
髙島 野十郎
椿とリンゴ
1918年
油彩、画布
33.4×45.7cm
個人蔵
（展示期間：2月10日−3月15日）

29
髙島 野十郎
暗がりのポットとりんご
1919年
油彩、画布
33.3×45.5cm
個人蔵
（展示期間：1月6日−2月8日）

30
髙島 野十郎
早春
1921年
油彩、画布
90.4×72.8cm
福岡県立美術館

31
髙島 野十郎
鉢と茶碗
1922年
油彩、画布
33.4×45.4cm
個人蔵

32
髙島 野十郎
りんごを手にした自画像
1923年
油彩、画布
60.5×49.2cm
福岡県立美術館

33
髙島 野十郎
断崖の上
1924年
油彩、板
23.6×32.8cm
個人蔵

34
髙島 野十郎
廃墟 横濱南京町
1924年
油彩、板
23.9×32.8cm
個人蔵

35
髙島 野十郎
静物
1925年
油彩、画布
33.2×45.6cm
福岡県立美術館
（展示期間：2月10日−3月15日）

36
髙島 野十郎
牡丹花
1926年頃
油彩、画布
53.3×45.8cm
目黒区美術館

37
髙島 野十郎
静物
1912-26年頃
油彩、板
11.0×16.0cm
個人蔵

38
髙島 野十郎
ひまわり
1912-26年頃
油彩、板
22.7×15.6cm
三鷹市美術ギャラリー

39
髙島 野十郎
梨の花
1930-33年
油彩、画布
53.0×72.3cm
一般財団法人 恵愛団

40
髙島 野十郎
りんご
1935年
油彩、画布
31.8×41.3cm
個人蔵
（展示期間：1月6日−2月8日）

41
髙島 野十郎
古池
1945-47年頃
油彩、画布
60.4×50.0cm
個人蔵

42
髙島 野十郎
山辺の秋
1947年
油彩、板
24×33.4cm
個人蔵

43
髙島 野十郎
田園太陽
1956年
油彩、画布
53.4×72.8cm
個人蔵

44
青木 繁
宇朗像
1904年
色鉛筆、紙
14.0×12.0cm
福岡県立美術館

45
大石 輝一
枇杷
1926年
油彩、画布
33.0×33.0cm
大阪中之島美術館

46
大澤 鉦一郎
壺の水仙
1923年
油彩、画布
53.0×40.9cm
個人蔵

47
岸田 劉生
静物（湯呑と茶碗と林檎三つ）
1917年
油彩、画布
38.0×45.5cm
大阪中之島美術館

48
岸田 劉生
林檎三個
1917年
油彩、画布
31.8×41.0cm
個人蔵

49
岸田 劉生
静物図（物質可愛）
1923年
油彩、画布
32.1×41.4cm
刈谷市美術館

50
木村 荘八
静物
1919年
油彩、画布
65.3×80.3cm
練馬区立美術館

51
古賀 春江
観音
1921年
油彩、画布
91.0×72.5cm
東京国立近代美術館

52
坂本 繁二郎
月
1966年
油彩、画布
60.5×73.0cm
無量寿院

53
椿 貞雄
自画像
1915年
油彩、画布
73.0×51.0cm
千葉県立美術館

54
宮脇 晴
自画像
1920年
油彩、画布
81.0×61.0cm
愛知県美術館

55
吉原 治良
卓上静物
1925年
油彩、画布
31.9×41.3cm
大阪中之島美術館

56
萬 鉄五郎
太陽の麦畑
1913年頃
油彩、画布
23.4×33.0cm
東京国立近代美術館

第2章　人とともに

57
髙島 野十郎
傷を負った自画像
1914-16年頃
油彩、画布
59.5×49.6cm
福岡県立美術館

58
髙島 野十郎
紫をもととリンゴ
1920年
油彩、画布
45.5×50.3cm
個人蔵

59
髙島 野十郎
けし
1925年
油彩、画布
53.1×41.0cm
三鷹市美術ギャラリー

60
髙島 野十郎
海岸
1912-26年頃
油彩、画布
52.8×72.8cm
個人蔵

61
髙島 野十郎
ひまわりとリンゴ
1912-26年頃
油彩、板
32.2×23.8cm
個人蔵

62
髙島 野十郎
岸上鎌吉先生像
1921-26年頃
油彩、画布
63.2×52.3cm
東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻

63
髙島 野十郎
煙草を手にした自画像
1945年以前
油彩、画布
52.6×45.4cm
福岡県立美術館

64
髙島 野十郎
ベニスの港
1930-33年
油彩、画布
53.0×41.0cm
個人蔵
（展示期間：1月6日−2月8日）

65
髙島 野十郎
トマト
1935-44年
油彩、画布
30.3×39.4cm
個人蔵
（展示期間：2月10日−3月15日）

66
髙島 野十郎
外山亀太郎先生像
1941年
油彩、画布
64.5×52.0cm
東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻

67
髙島 野十郎
筑後川遠望
1949年頃
油彩、画布
21.2×33.4cm
福岡県立美術館

68
髙島 野十郎
秋の花々
1953年
油彩、画布
80.2×100.2cm
個人蔵

69
髙島 野十郎
カンナとコスモス
1954年
油彩、画布
60.6×50.3cm
個人蔵

70
髙島 野十郎
高原の道
1958年
油彩、画布（板貼）
24.5×33.2cm
個人蔵
（展示期間：2月10日−3月15日）

71
髙島 野十郎
夕月
1961年頃
油彩、画布
45.5×60.5cm
個人蔵

72
髙島 野十郎
ダーリヤ
1962年頃
油彩、画布
53.0×45.5cm
個人蔵

73
髙島 野十郎
萌え出づる森
1965年頃
油彩、画布
52.9×45.7cm
個人蔵

74
髙島 野十郎
蝋燭
1965年頃
油彩、板
23.0×15.6cm
福岡県立美術館

75
髙島 野十郎
伊藤辰五郎氏の像
1968年
油彩、画布
46.0×38.0cm
個人蔵

76
髙島 野十郎
藤十郎の恋
1948年以降
油彩、画布
60.5×49.8cm
個人蔵

77
髙島 野十郎
牡丹
1948年以降
油彩、画布
57.8×50.0cm
福岡県立美術館

78
髙島 野十郎
林中の太陽
1948年以降
油彩、画布
45.4×38.0cm
光本巧子氏蔵
（展示期間：1月6日−2月8日）

79
髙島 野十郎
蝋燭
1948年以降
油彩、板
22.6×15.4cm
個人蔵

80
髙島 野十郎
蝋燭
1948年以降
油彩、画布（板貼）
22.5×16.8cm
個人蔵

81
髙島 野十郎
蝋燭
1948年以降
油彩、板
22.7×15.6cm
個人蔵

82
髙島 野十郎
蝋燭
1948年以降
油彩、板
22.8×15.7cm
個人蔵

83
大内田 茂士
静物
1939年
油彩、画布
72.8×91.2cm
福岡県立美術館

第3章　風とともに

84
髙島 野十郎
小さき停車場
1930年
油彩、画布（厚紙貼）
18.0×25.5cm
個人蔵

85
髙島 野十郎
イタリヤの海 キオッジア漁村
1930-33年
油彩、画布
39.4×51.6cm
個人蔵

86
髙島 野十郎
小川のほとり
1930-33年
油彩、画布
45.5×60.5cm
個人蔵

87
髙島 野十郎
ジプシーの馬車
1930-33年
油彩、画布
40.9×52.8cm
個人蔵

88
髙島 野十郎
日曜日の夕方 巴里オーステルリッツ橋
1930-33年
油彩、画布
52.8×72.6cm
個人蔵

89
髙島 野十郎

パリ・ベニス通り
1930-33年
油彩、画布
60.6×45.5cm
個人蔵

90
髙島 野十郎
横丁
1930-33年
油彩、画布
45.6×54.2cm
福岡県立美術館

91
髙島 野十郎
犬吠埼
1935-44年
油彩、画布
40.8×52.8cm
福岡県立美術館

92
髙島 野十郎
照る海
1935-44年
油彩、板
23.9×33.0cm
個人蔵

93
髙島 野十郎
春雨
1935-44年頃
油彩、画布
45.0×53.0cm
福岡県立美術館

94
髙島 野十郎
朝霧
1941年
油彩、画布
45.4×60.8cm
個人蔵

95
髙島 野十郎
早春
1941年
油彩、画布
41.3×53.0cm
Wakana Collection

96
髙島 野十郎
山の秋
1942年
油彩、画布
53.3×41.2cm
個人蔵

（展示期間：1月6日－2月8日）

97
髙島 野十郎
夏雲
1948-59年
油彩、画布
50.0×60.8cm
個人蔵

98
髙島 野十郎
古蹟の春
1952年
油彩、画布
41.3×53.0cm
Wakana Collection

99
髙島 野十郎
田園細雨
1952年
油彩、板
34.1×32.4cm
個人蔵

100
髙島 野十郎
早春池畔
1953年
油彩、画布
50.2×61.0cm
福岡市美術館

101
髙島 野十郎
ひまわり
1954年頃
油彩、画布
53.1×45.6cm
福岡県立美術館

102
髙島 野十郎
初夏の野路
1955年頃
油彩、画布
33.5×45.8cm
福岡県立美術館

103
髙島 野十郎
草間の小川
1957年
油彩、画布
53.0×45.5cm
個人蔵

104
髙島 野十郎
れんげ草
1957年
油彩、画布
45.3×60.5cm
個人蔵

105
髙島 野十郎
雪の村
1958年
油彩、画布
31.6×40.8cm
個人蔵

106
髙島 野十郎
高原の秋
1959年
油彩、板
31.4×40.5cm
個人蔵
（展示期間：2月10日－3月15日）

107
髙島 野十郎
崖の小路
1967年
油彩、画布
40.7×32.2cm
竹内房子氏蔵

108
髙島 野十郎
海岸風景
1948年以降
油彩、板
24.0×33.2cm
Wakana Collection

109
髙島 野十郎
桜
1948年以降
油彩、画布
50.4×61.0cm
ブルーミング中西株式会社

110
髙島 野十郎
積る
1948年以降
油彩、画布
33.5×45.8cm
個人蔵

111
髙島 野十郎
リンゴの木のある風景
1948年以降
油彩、画布
33.5×45.4cm
個人蔵

112
髙島 野十郎
山辺の秋
1948年以降
油彩、画布
45.8×53.0cm
個人蔵

113
髙島 野十郎
山径
1975年
油彩、画布
52.8×45.5cm
個人蔵

第4章　仏の心とともに

114
髙島 野十郎
蓮華
1904-09年
油彩、画布
60.1×45.0cm
個人蔵

115
髙島 野十郎
春の夜
1935-44年
油彩、板
22.6×15.6cm
個人蔵

116
髙島 野十郎
山の夕月
1940年
油彩、画布
45.6×60.8cm
福岡県立美術館

117
髙島 野十郎
海辺の秋花
1953年頃
油彩、画布
53.1×45.0cm
個人蔵

118
髙島 野十郎
山中孤堂
1953年
油彩、板
22.0×27.0cm
個人蔵

119
髙島 野十郎

寧楽の春
1953年
油彩、画布
74.0×55.0cm
福岡市美術館

120
髙島 野十郎
奈良薬師寺
1955年頃
油彩、板
40.5×31.4cm
個人蔵

121
髙島 野十郎
夏の池
1956年
油彩、画布
45.6×60.8cm
個人蔵

122
髙島 野十郎
菊の花
1956年
油彩、画布
51.8×44.4cm
個人蔵

123
髙島 野十郎
さくらんぼ
1957年
油彩、画布（板貼）
27.2×21.9cm
個人蔵

124
髙島 野十郎
流
1957年
油彩、画布
60.5×72.7cm
杏林大学

125
髙島 野十郎
法隆寺塔
1958年
油彩、画布
71×59.5cm
個人蔵

126
髙島 野十郎
月
1962年頃
油彩、画布
31.7×40.8cm
個人蔵
（展示期間：2月10日−3月15日）

127
髙島 野十郎
月
1963年頃
油彩、画布
41.0×31.9cm
個人蔵
（展示期間：1月6日−2月8日）

128
髙島 野十郎
雨 法隆寺塔
1965年
油彩、画布
72.4×53.2cm
個人蔵

129
髙島 野十郎
菜の花
1965年
油彩、画布
53.0×72.5cm
ブルーミング中西株式会社

130
髙島 野十郎
石神井池
1965年頃
油彩、カンバスボード
37.8×45.2cm
福岡県立美術館

131
髙島 野十郎
無題
1967年
油彩、画布
45.8×60.8cm
福岡県立美術館

132
髙島 野十郎
山門
1948年以降
油彩、板
31.5×40.9cm
福岡県立美術館

133
髙島 野十郎
空
1948年以降
油彩、画布
41.0×31.6cm
個人蔵

134
髙島 野十郎
廃屋
1948年以降
油彩、画布（板貼）
33.2×23.8cm
個人蔵

135
髙島 野十郎
冬の地蔵
1948年以降
油彩、カンバスボード
24.0×33.2cm
個人蔵

136
髙島 野十郎
蝋燭
1948年以降
油彩、板
22.8×15.8cm
個人蔵

137
髙島 野十郎
蝋燭
1948年以降
油彩、画布
22.6×15.5cm
三鷹市美術ギャラリー

138
髙島 野十郎
割れた皿
1948年以降
油彩、板
24.0×33.2cm
福岡県立美術館

139
髙島 野十郎
太陽
1975年
油彩、画布
60.0×72.1cm
個人蔵

エピローグ　野十郎とともに

140
髙島 野十郎
百合とヴァイオリン
1921-26年頃
油彩、画布
41.1×53.2cm
目黒区美術館

141
髙島 野十郎
裏庭の秋
1930-33年
油彩、画布
33.5×45.5cm
Wakana Collection

142
髙島 野十郎
蝋燭
1934年頃
油彩、画布
22.8×15.8cm
個人蔵

143
髙島 野十郎
壺とグラスと果実
1935-44年
油彩、画布
45.7×38.3cm
個人蔵

144
髙島 野十郎
パイプ
1935-44年
油彩、板
26.3×18.9cm
福岡県立美術館

145
髙島 野十郎
バラとりんご
1935-44年
油彩、画布
37.5×45.3cm
個人蔵

146
髙島 野十郎
秋晴れ
1941年
油彩、板
23.8×33.0cm
個人蔵

147
髙島 野十郎
静物
1950年
油彩、画布
32.0×41.0cm
Wakana Collection
（展示期間：1月6日−2月8日）

148
髙島 野十郎
静物
1951年
油彩、画布
53.0×45.5cm
瀬戸内市立美術館

149
髙島 野十郎
柿とぶどう
1953年
油彩、画布
38.0×45.5cm
個人蔵

150
髙島 野十郎
さくらんぼ
1956年頃
油彩、板
16.5×23.0cm
福岡県立美術館

151
髙島 野十郎
ばら
1958年
油彩、画布
40.6×31.7cm
個人蔵

152
髙島 野十郎
壺とりんご
1959年
油彩、板
33.5×24.0cm
個人蔵

153
髙島 野十郎
桃とすもも
1961年
油彩、画布
45.5×53.2cm
個人蔵

154
髙島 野十郎
牡丹
1963年頃
油彩、画布
53.0×45.7cm
個人蔵

155
髙島 野十郎
満月
1963年頃
油彩、画布
60.6×50.0cm
東京大学医科学研究所

156
髙島 野十郎
友禅菊
1965年
油彩、画布
44×51.7cm
東京大学医科学研究所

157
髙島 野十郎
秋陽
1967年
油彩、画布
45.5×53.0cm
福岡県立美術館

158
髙島 野十郎
林辺太陽
1967年
油彩、画布
60.8×73.1cm
東京大学医科学研究所

159
髙島 野十郎
すもも
1948年以降
油彩、画布
25.4×44.0cm
個人蔵
（展示期間：2月10日−3月15日）

160
髙島 野十郎
蝋燭
1948年以降
油彩、板
22.5×15.6cm
個人蔵

161
髙島 野十郎
蝋燭
1948年以降
油彩、カンバスボード
22.1×15.7cm
竹内房子氏蔵

162
髙島 野十郎
蝋燭
1948年以降
油彩、板
22.7×15.7cm
個人蔵

163
髙島 野十郎
蝋燭
1948年以降
油彩、板
22.8×15.9cm
個人蔵

164
髙島 野十郎
睡蓮
1975年
油彩、画布
48.6×50.0cm
福岡県立美術館

資料

165
髙島 野十郎
デッサン
「魚介類の観察図」
1915年頃
鉛筆、ペン（一部着彩）、紙
各19.2×28.5cm（9点）
福岡県立美術館

166
髙島 宇朗
『せゝらき集』（増補改訂版）
1927年
福永書店
福岡県立美術館

167
携帯用のイーゼルと絵具箱
福岡県立美術館

168
髙島 野十郎
「増尾髙島画室縁起」
福岡県立美術館

169
葉書（宮内博子宛）［海はおかあさん］
1959年
福岡県立美術館

170
葉書（川崎浹宛）［慧海禅師偈］
1961年
福岡県立美術館

171
手紙（高野教子宛）［新画室への案内］
1964年
福岡県立美術館

172
手紙（高野教子宛）［取材のために秩父で1、
2か月滞在］
1965年
福岡県立美術館

173
手紙（高野教子宛）［小生の研究と精進です］
1966年
福岡県立美術館

174
葉書（田場川廣記宛）［元旦事始四方拝］
1968年
福岡県立美術館

175
葉書（奥山教子宛）［秩父札所巡り］
1971年
福岡県立美術館

176
葉書（奥山教子宛）［粗食小食のススメ］
1972年
福岡県立美術館

177
名刺（兼作品代金受領書）
武内房子氏蔵

178
藤 國雄
「髙島野十郎氏とその作品」［個展（博多大丸）
案内状］
1957年
福岡県立美術館

179
田場川斐都子の手紙（福岡県立美術館宛）
1992年
福岡県立美術館

180
『昭和新纂 国訳大蔵経』東方書院
1928-30年
7冊
福岡県立美術館

181
『三教指帰』『三論玄義』岩波文庫
1935年、1941年
福岡県立美術館

182
髙島 野十郎
「遺稿ノート」
福岡県立美術館

収集作品一覧

2025年度末　総点数	
国内作家	3,124点
国外作家	640点
合計	3,764点

2025年度　購入点数	
国内作家	0点
国外作家	1点

2025年度　寄贈点数	
国内作家	37点
国外作家	4点

購入作品 ｜ 国外作家 ｜ 美術



ゲルハルト・リヒター
Gerhard RICHTER
8枚のガラス

2012年
アンテリオ・ガラス、鉄
230.0×160.0×350.0cm

寄贈作品 ｜ 国内作家 ｜ 美術



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
魚肉ソーセージ

2005年
油彩、綿布、板
45.3×53.0cm



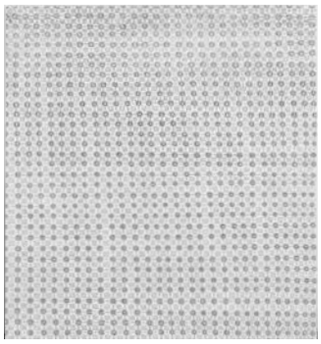
梅津 庸一
UMETSU Yoichi
戯れ

2005年
インク、紙
25.6×18.2cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
花のかんむり

2006年
インク、紙
29.7×40.2cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
floral floor

2007-08年
インク、板
33.7×30.5cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
不詳（夜勤）

2016年
水彩、アクリル、油彩、板
14.8×14.8cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
不詳（血管と花粉の輪切り）

2017年
白亜地、墨、水彩、インク、アクリル、油彩、板
15.0×14.8cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
不詳（鬼の家）

2017年
白亜地、鉛筆、板
17.6×17.5cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
花粉濾し器

2020年
陶
24.3×19.0×17.5cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
パームツリー

2020年
陶
27.4×16.0×17.5cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
パームツリー

2020年
陶
13.7×15.4×12.3cm



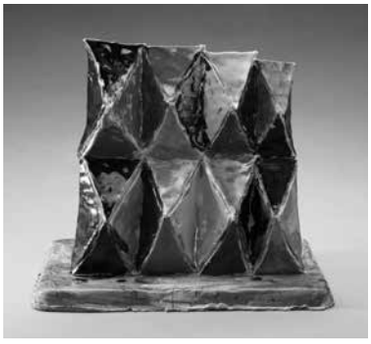
梅津 庸一
UMETSU Yoichi
パームツリー

2021年
陶
38.0×15.5×13.5cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
集団意識

2021年
水彩、インク、アクリル、油彩、エナメル、紙
113.0×160.0cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
モダンな壁

2022年
陶
31.0×36.0×23.0cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
幻灯機

2022年
陶
26.0×21.0×27.6cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
sleep in the sky

2022年
陶
30.0×46.0×17.5cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
焼却炉

2022年
陶
9.3×14.7×13.9cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
乾いた土地

2022年
陶
11.0×18.8×14.3cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
粘菌状の構造物

2022年
陶
13.5×18.5×19.7cm



梅津 庸一
UMETSU Yoichi
ペア

2023年
陶
22.0×19.5×14.0cm



瑛九
Ei Q
楽園

1951年
エッチング
12.9×12.1cm



瑛九
Ei Q
小さい悪魔

1952年
エッチング
表紙、奥付、版画4点



瑛九
Ei Q
海の中

1952年
エッチング
9.0×7.5cm



瑛九
Ei Q
オペラグラス

1953年
エッチング
23.5×18.1cm



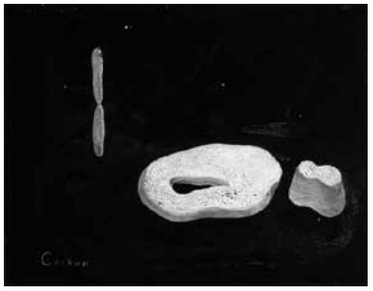
瑛九
Ei Q
ドンファン

1953年
エッチング
23.7×17.8cm



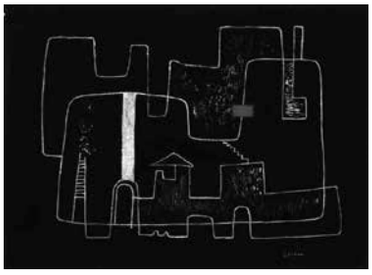
瑛九
Ei Q
リズム

1957年
エッチング
18.1×11.7cm



山田 光春
YAMADA Koshun
[無題]

1930年代
油彩、ガラス
32.3×45.5cm



山田 光春
YAMADA Koshun
[建物]

1930年代
油彩、ガラス
23.0×32.0cm



山田 光春
YAMADA Koshun
[水くみ]

1930年代
油彩、カンヴァス
97.4×130.3cm



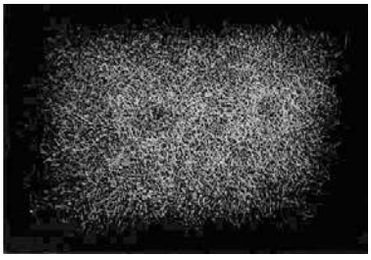
山田 光春
YAMADA Koshun
ねぎと菜の花

1935年
油彩、カンヴァス
50.0×72.0cm



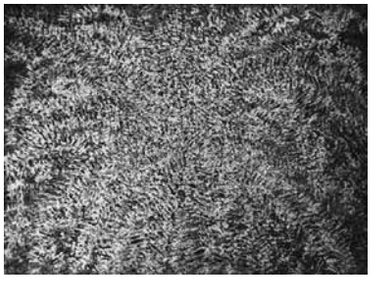
山田 光春
YAMADA Koshun
[リヤカー]

1946年
油彩、カンヴァス
97.2×130.3cm



山田 光春
YAMADA Koshun
[無題]

1950年代
油彩、ガラス
15.8×22.5cm



山田 光春
YAMADA Koshun
フェニックス

1962年
油彩、カンヴァス
97.2×130.3cm



山田 光春
YAMADA Koshun
［無題］

1964年
油彩、ガラス
33.0×24.0cm



山田 光春
YAMADA Koshun
花の山寺

1980年
油彩、カンヴァス
73.0×90.8cm

北川 民次、木下 繁、安藤 幹衛、鈴木 幸雄
KITAGAWA Tamiji, KINOSHITA Shigeru, ANDO Mikie, SUZUKI Sachio
原作版画集 1集

1950年代
たとうサイズ：59.5×40.5cm

瑛九、靉嘔 、泉 茂、利根山 光人
Ei Q, AI-O, IZUMI Shigeru, TONEYAMA Kojin
原作版画集 2集

1950年代
たとうサイズ：55.5×37.7cm

寄贈作品 | 国内作家 | 美術資料



山田 光春
YAMADA Koshun
ふるさと社11月展目録

1935年
紙
17.2×21.4cm（二つ折り）

寄贈作品 | 国外作家 | 美術



大岩 オスカール
OIWA Oscar
フラワー

1995年
アクリル、コーヒー、合板
182.0×364.0cm



ゲルハルト・リヒター
Gerhard RICHTER
2015年2月5日

2015年
油彩、写真
11.3×16.9cm



ゲルハルト・リヒター
Gerhard RICHTER
2015年2月10日

2015年
油彩、写真
11.3×16.9cm



ゲルハルト・リヒター
Gerhard RICHTER
ムード

2022年
インクジェット・プリント
各21.0×29.7cm（31枚組）

作品貸出実績

※年度をまたがる巡回展は、本年度に開始した会場のみを記す。

作家名	作品名	展覧会名／会場	会期
マックス・エルンスト	子供、馬そして蛇	**生誕120周年 サルバドール・ダリ 天才の秘密**	
イヴ・タンギー	失われた鐘	広島県立美術館	2025年4月15日-6月8日
サルバドール・ダリ	皿のない二つの目玉焼きを背に乗せ、ポルトガルパンのかけらを犯そうとしている平凡なフランスパン		
岸田 劉生	自画像	**岸田吟香と岸田劉生 近代、それは東洋にあり**	
岸田 劉生	代々木附近	豊田市博物館	2025年4月26日-6月15日
岸田 劉生	麗子洋装之図（青果持テル）		
岸田 劉生	鯰坊主		
アンゼルム・キーファー	重い水	**積層する時間 この世界を描くこと**	
		金沢21世紀美術館	2025年4月29日-9月28日
岡﨑 乾二郎	かたがみのかたち 01	**岡﨑乾二郎 而今而後 ジコンジゴ Time Unfolding Here**	
岡﨑 乾二郎	かたがみのかたち 03	東京都現代美術館	2025年4月29日-7月21日
岡﨑 乾二郎	かたがみのかたち 04		
岡﨑 乾二郎	おかちまち b-1		
岡﨑 乾二郎	おかちまち b-2		
岡﨑 乾二郎	おかちまち b-3		
岡﨑 乾二郎	おかちまち b-4		
岡﨑 乾二郎	おかちまち b-5		
岡﨑 乾二郎	「あなたなら聞こえるでしょう。おばさん」婦人はもの思いにふけるかのようにおし黙っていたけれど、ついに彼女は壁に向かって大きなあくびをしてしまう。その口を瞬く間に彼女自身の手が蓋をする。壁には月光をあびた窓の形がくっきりと浮きでている。葉を落とした木々の裸の枝組みがかすかに揺れながら、その上に影を落とす。遠くで電話が鳴り、壁一枚隔てた隣室から誰かの声が聞こえた。同時に同じ場所のふたつの相反する悩みに心が奪われているだろう。自分の顔が見えたなら、すべては理解できるはずなのに。「自分の名前まで忘れちゃった。でも、この部屋に誰が住んでるのかは知ってるわ」 「きみにはわからないわね。こどもだもの」こどもはもじもじしながら、しばらく顔をうごかしていたけれども、ふいに視界からこどもの姿が消えて、ちらりとお尻が水面をよこぎり、もう次の瞬間、水中には白っぽい影があって底に向かって沈んでいった。澄んだ水面に、ひとつぶ雨が落ちたように、幾重にも同心円がひろがっていく。今気づいたのだが、奇妙なことは何ひとつなかった。たぶん真夜中でも眼は見えるのだろう。昼と夜は分かちがたく繋がっていたのだし、涙でガラスが曇ってしまっても眼鏡に瞼はないのだから。「涙でぜんぜん見えないや。だから手を伸ばし、なるべく近くの物を掴んでみるよ」		
横山 奈美	LOVE	**LOVEファッション 私を着がえるとき**	
		東京オペラシティ アートギャラリー	2025年4月16日-6月22日
福田 美蘭	冬-供花	**ゴッホ・インパクト 生成する情熱**	
		ポーラ美術館	2025年5月31日-11月30日
藤田 嗣治	自画像	**藤田嗣治×国吉康雄 二人のパラレル・キャリア 百年目の再会**	
藤田 嗣治	美しいスペイン女	兵庫県立美術館	2026年6月14日-8月17日
加藤 泉	無題	**加藤泉 何者かへの道**	
加藤 泉	無題	島根県立石見美術館	2025年7月5日-9月1日
大岩 オスカール	古代美術館	**時代のプリズム 日本で生まれた美術表現 1889-2010**	
村上 隆	R. P.（ランドセル・プロジェクト）	国立新美術館	2025年9月3日-12月8日
ル・コルビュジエ	アームチェア（バスキュラン）	**リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s–1970s**	
ル・コルビュジエ	寝椅子（シェーズロング）	兵庫県立美術館	2025年9月20日-2026年1月4日
ルートヴィヒ・ミース・ファン・デ・ローエ	テーブル		
ジャン・バドヴィッチ	フランスの室内装飾		

作家名	作品名	展覧会名／会場	会期
グスタフ・クリムト	若い女性の横顔	**ウィーン・スタイル ビーダーマイヤーと世紀末**	
グスタフ・クリムト	〈オイゲニア・プリマフェージの肖像〉の習作	パナソニック汐留美術館	2025年10月4日-12月17日
コロマン・モーザー	アームチェア		
コロマン・モーザー	椅子		
コロマン・モーザー	花入れ		
ヨーゼフ・ホフマン	サナトリウム・プルカースドルフの食堂の椅子		
ヨーゼフ・ホフマン	エッグカップとスモールスプーン		
ヨーゼフ・ホフマン	フラットウェア・サーヴィス		
オットー・ヴァーグナー	郵便貯金局会議室のアームチェア		
マティルデ・フレークル	ウィーン工房 1903-1928ー近代工芸とその歩み		
ダゴベルト・ペッヒェ	ダフネ		
ダゴベルト・ペッヒェ	メディナ		
ダゴベルト・ペッヒェ	パン（牧神）		
ダゴベルト・ペッヒェ	ヘスペリデスの果物（計8点）		
ヴァリー・ヴィーゼルチール	アニトラ（計4点）		
ユリウス・ジンペル	バイーラ（計3点）		
マリア・リカルツ	エーブロ		
マリア・リカルツ	秋の葉		
マリア・リカルツ	夜会		
マリア・リカルツ	ハゴロモグサ		
ミッツィ・フリードマン＝オッテン	テキスタイルのデザイン		
スージー・シンゲル	こずえ		
フェリス・リックス（＝ウエノ）	ユスフ（計2点）		
フェリス・リックス（＝ウエノ）	ビアリッツ（計9点）		
ウィーン工房	グナフィッシェ		
ウィーン工房	テキスタイルのデザイン（計12点）		
ウィーン工房	リボンのデザイン（計20点）		
関根 伸夫	位相 No.13	**いつもとなりにいるから 日本と韓国、アートの80年**	
		横浜美術館	2025年12月6日-2026年3月22日
イヴ・タンギー	失われた鐘	**拡大するシュルレアリスム 視覚芸術から広告、ファッション、インテリアへ**	
ジョアン・ミロ	絵画	大阪中之島美術館	2025年12月13日-2026年3月8日
ジャン（ハンス）・アルプ	ひと、ひげ、へそ		
ジャン（ハンス）・アルプ	灰色の上の黒い形態の星座		
田中 敦子	Work 1963 B	**アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦**	
草間 彌生	No. AB.	東京国立近代美術館	2025年12月16日-2026年2月8日
		兵庫県立美術館	2026年3月25日-5月6日
中西 夏之	arcのために	**中西夏之 緩やかにみつめるためにいつまでも佇む、装置**	
中西 夏之	arc・green-O	国立国際美術館	2026年3月14日-6月14日
中西 夏之	arc・ellipse-F120（作業手順の略図）		
中西 夏之	弓形が触れてのためのプラン		
中西 夏之	作品・5月 III		
中西 夏之	arc green 7番のために		
下村 観山	美人と舎利	**下村観山展**	
		東京国立近代美術館	2026年3月17日-5月10日
宮脇 晴	えりまきの少女	**没後50年 髙島野十郎展**	
		大阪中之島美術館	2026年3月25日-6月21日

教育・普及

1 講演会、シンポジウム

モネ 睡蓮のとき
講演会「マルモッタン・モネ美術館の歴史ーコレクターたちの美術館」
講師：シルヴィ・カルリエ（マルモッタン・モネ美術館コレクション部長、本展監修者）
日時：6月21日［土］午後2時ー3時30分
会場：美術館講堂
参加人数：150人

開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅰ：社会と、世界と
講演会「アルテ・ポーヴェラについて」
講師：金井直（信州大学人文学部教授）
日時：8月31日［日］午後3時ー4時30分
会場：美術館講堂
参加人数：60人

アンチ・アクション　彼女たち、それぞれの応答と挑戦
講演会「『アンチ・アクション』とは何か」
講師：中嶋泉（本展学術協力者）
日時：10月26日［日］午後2時ー3時30分
会場：美術館講堂
参加人数：91人

アンチ・アクション　彼女たち、それぞれの応答と挑戦
巡回3館キュレータートーク
講師：成相肇（東京国立近代美術館主任研究員）、江上ゆか（兵庫県立美術館学芸員）、千葉真智子（当館学芸員）
日時：11月9日［日］午後2時ー3時30分
会場：美術館講堂
参加人数：71人

開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅱ：「独りと、集団と」
横浜×広島×豊田3館長トーク「美術館のこれから」
講師：蔵屋美香（横浜美術館館長）、寺口淳治（広島市現代美術館館長）、高橋秀治（当館館長）
日時：11月16日［日］午後2時ー3時30分
会場：美術館講堂
参加人数：46人

没後50年　高島野十郎展
講演会「高島野十郎の作品世界、その魅力について」
講師：高山百合（福岡県立美術館学芸員）
日時：1月18日［日］午後2時ー3時30分
会場：美術館講堂
参加人数：140人

没後50年　高島野十郎展
講演会「高島野十郎の謎をめぐって」
講師：西本匡伸（福岡県立美術館特任学芸員）
日時：2月22日［日］午後2時ー3時30分
会場：美術館講堂
参加人数：185人

開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅲ：それぞれの実存
講演会「ゲルハルト・リヒター全解：レイヤー、レディメイド、そしてトラウマ」
講師：清水穣（美術評論家）
日時：1月17日［土］午後2時ー3時30分
会場：美術館講堂
参加人数：110人

開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅲ：それぞれの実存
講演会「ゲルハルト・リヒターと河原温」
講師：平出隆（詩人、多摩美術大学名誉教授）
日時：2026年3月15日［日］午後2時ー3時30分
会場：美術館講堂
参加人数：93人

2 講座、解説会、ギャラリートーク、ワークショップ

モネ 睡蓮のとき
睡蓮のとき　モネのまなざし
講師：石田大祐（当館学芸員）
日時：7月6日［日］午前10時30分ー12時
会場：中日文化センター栄
主催：中日文化センター
参加人数：70人

モネ 睡蓮のとき
30周年コレクション展＆「モネ 睡蓮のとき」を楽しむ〜作家にまつわるいくつかの物語〜
講師：石田大祐（当館学芸員）
日時：7月13日［日］午前10時15分ー12時
会場：豊田市中央図書館 6階 多目的ホール
主催：豊田市中央図書館
参加人数：74人

モネ 睡蓮のとき
か〜るくラシック♪スペシャル版　豊田市美術館「モネ　睡蓮のとき」連携事業　名画×名曲　〜ひたる。モネに。音楽に。〜
演奏：寺本みなみ（ピアノ）、寺本みずほ（ヴァイオリン）
話者：高橋秀治（当館館長）
日時：7月23日［水］午後2時ー4時
会場：豊田市コンサートホール
主催：文化振興課（公益財団法人豊田市文化振興財団）
参加人数：688人

モネ 睡蓮のとき
館長・担当学芸員によるスライドトーク
講師：①④⑤高橋秀治（当館館長）、②③⑥石田大祐（当館学芸員）
日時：①8月21日［木］、②8月22日［金］、③8月26日［火］、④8月27日［水］、⑤8月28日［木］、⑥8月29日［金］いずれも午後1時15分ー1時45分
会場：美術館講堂
参加人数：①85人、②94人、③60人、④107人、⑤87人、⑥64人

開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅰ：社会と、世界と
作家トーク
講師：森北伸、佐藤克久、秋吉風人、田村友一郎（出品作家）
日時：8月9日［土］午後3時30分ー5時
会場：展示室1-5
参加人数：60人

開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅱ：独りと、集団と
寺尾紗穂庭園スペシャルライブ
出演：寺尾紗穂、伊賀航
日時：10月13日［月］午後3時30分ー4時30分
会場：庭園
企画協力：LIVERARY
参加人数：350人

豊田地域医療センター病院祭でのトーク＆対話型鑑賞
講師：石田大祐（当館学芸員）、作品ガイドボランティア1名
日時：11月1日［土］午後1時ー4時
会場：豊田地域医療センター
参加人数：12人

開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅱ：独りと、集団と
「カラオケ・コモンズ」ー東方悠平さんとベトナムに触れる
［展示］
会期：11月15日［土］ー30日［日］

会場：ミュージアムショップ横
［トーク／ベトナム音楽DJ & カラオケ］
講師：東方悠平氏（美術家）
日時：11月22日［土］午後1時－5時
会場：庭園
共催：SEASUN
参加人数：60人

▎アンチ・アクション　彼女たち、それぞれの応答と挑戦
担当学芸員によるギャラリートーク
講師：千葉真智子（当館学芸員）
日時：11月16日［日］午前11時30分－12時30分
会場：展示室6-8
参加人数：22人

▎開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅱ：独りと、集団と
パフォーマンス＆ワークショップ
「ちょっと大き過ぎた小屋を解体しますので、（霊力が込められるかもしれない）盾と（タオパイパイなら乗りこなせる）スケボーにつくりかえて持って帰ってください。手伝います。」
パフォーマー：contact Gonzo（アーティストグループ）、dot architects（建築家集団）
日時：①11月29日［土］午後1時－5時、②30日［日］午前10時－午後4時
会場：庭園
参加人数：①50人、②60人

▎開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅱ：独りと、集団と
作家トーク＆パフォーマンス
講師：迎英里子（出品作家）
日時：12月6日［土］午後2時－3時30分
会場：展示室4
参加人数：30人

▎漆講座「栃のお皿に拭漆」
講師：笹井史恵（漆芸家、京都市立芸術大学教授）
日時：12月7日［日］①午前10時30分－12時30分、②午後2時30分－4時30分
会場：ワークショップルーム
参加費：1人4,000円（お皿3点）
参加人数：①14人、②13人

▎開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅱ：独りと、集団と
上映会＆トーク
上映作品：大木裕之氏監督作品「松前君とトヨタ君の映画 20250526mix」
日時：12月14日［日］午後2時－（上映時間60分）
講師：能勢伊勢男（PEPPER LAND主宰）、黒瀬陽平（美術批評家）
会場：美術館講堂
参加人数：70人

▎没後50年　高島野十郎展
担当学芸員によるギャラリートーク
講師：成瀬美幸（当館学芸員）
日時：①1月17日［土］、②2月1日［日］、③2月21日［土］いずれも午前11時－12時
会場：展示室8
参加人数：①30人、②30人、③29人

▎開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅲ：それぞれの実存
担当学芸員による新収蔵作品のギャラリートーク
講師：鈴木俊晴（当館学芸員）
日時：①2月8日［日］、②3月8日［日］いずれも午後3時－3時30分
会場：展示室1、3
参加人数：①29人、②30人

▎開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅲ：それぞれの実存
作家トーク
講師：平川紀道（出品作家）
日時：3月7日［土］午後3時－4時30分
会場：美術館講堂
参加人数：35人

▎開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図
星図Ⅲ：それぞれの実存
作家トーク
講師：会田誠（出品作家）
日時：3月14日［土］午後3時－4時30分
会場：美術館講堂
参加人数：150人

▎ワークショップ「つくろう！わたしだけの服　ーグスタフ・クリムト《オイゲニア・プリマフェージの肖像》よりー」
講師：鈴木敦士（当館エデュケーター）
日時：3月14日［土］午前10時30分－12時
会場：展示室、ワークショップルーム
参加人数：15人

アウトリーチ活動

▎館長と学芸員による連続出張美術講座
Vol. 1 「クリムト＆THE KISSーアート・オン・スクリーン特別編ー」公開記念トーク
講師：西﨑紀衣（当館学芸員）
日時：7月12日［土］①午後0時30分－1時、②午後5時30分－6時
会場：①イオンシネマ豊田KiTARA、②ミッドランドスクエアシネマ2
参加人数：①50人、②60人

Vol. 2　豊田市美術館、ここだけの話―展覧会とコレクション
講師：高橋秀治（当館館長）
日時：8月5日［火］午後5時45分－6時45分
会場：豊田市役所食堂
参加人数：51人

Vol. 3 「民藝」誕生100年―その魅力とひみつ
講師：都筑正敏（当館チーフキュレーター）
日時：9月20日［土］午後2時－3時
会場：カフェ〈ヒトトキー人と木ー〉
参加人数：38人

Vol. 4　創造性と生育歴～ワイエス親子の場合
講師：高橋秀治（当館館長）
日時：11月4日［火］午後1時30分－2時30分
会場：足助病院　講義室1
参加人数：26人

Vol. 5　登山と美術の100年史
講師：亀山裕亮（当館学芸員）
日時：11月23日［日］午後3時30分－4時30分
会場：逢妻交流館
参加人数：13人

Vol. 6　高島野十郎と旧制八高
講師：成瀬美幸（当館学芸員）
日時：2月15日［日］午後5時－6時
会場：珈琲香房 楽風
参加人数：32人

Vol. 7　ポルトガル語で聞く　美術館をもっと楽しむための1時間
講師：石田大祐（当館学芸員）
日時：3月14日［土］午前10時30分－11時30分
会場：保見ケ丘六区集会所
企画協力：JUNTOS
参加人数：40人

3 作品ガイドボランティア

美術館の教育・普及活動を支援、活性化していくことを目的に平成8年より活動を開始。
令和6年度に第7期生を募集。現在、45名が登録。

ギャラリーツアー

内容：各企画展の会期中、展示室において対話を交えた1時間程度のツアーを実施した。
定時：平日は午後2時から毎日
土・日・祝日は午前11時と午後2時の2回開催（毎月第3土曜の午前を除く）
団体：団体からの事前予約によるツアー

定時	活動回数	323
	参加者数	2,608
団体	件数	29
	参加者数	626
参加者数合計		3,234

鑑賞入門プログラム　みる×かんがえる×つたえる鑑賞会

内容：作品ガイドボランティアとの対話を交えながら、ひとつの作品を30－40分かけて鑑賞するプログラム。
各回午後1時－

日にち	トーカー	作　品	参加人数
4月20日	林	アルベルト・ブッリ《赤 プラスチック》	21
4月27日	舟見	梅原龍三郎《カンヌ》、藤田嗣治《キャンボシヤ平原》	15
5月3日	福田	宮脇綾子アプリケ作品	25
5月17日	堀山	ダニエル・スペーリ《テーニャの16の廃品、変調》	21
8月2日	三島	奈良美智《Through the Break in the Rain》	34
8月26日	松軒	エゴン・シーレ《カール・グリュンヴァルトの肖像》	19
8月30日	矢頭	高松次郎《赤ん坊の影 No.122》	17
9月7日	松下	国吉康雄《花飾りをつけた女》	26
10月25日	荒川	田中敦子《地獄門》	15
11月3日	浅見	斎藤義重《複合体 95》	15
11月8日	岡崎	草間彌生《No.AB.》	19
11月30日	眞島	山崎つる子《作品》	25
12月6日	岩田	堀浩哉《池へ-81.4》	22
12月13日	植村	村岡三郎《熔断―17,500mm×1,380℃》	14
1月31日	岡野	ゲルハルト・リヒター《8枚のガラス》	21
2月14日	小野	大岩オスカール《フラワー》	25
2月21日	菅原	マックス・クリンガー《ミューズの頭部》	26
3月1日	宇佐見	ライアン・ガンダー《お母さんに心配しないでといって(iv)》	16
3月7日	梅田	宮島達男《カウンター・ルーム》	26
合計			402

“こども”ギャラリーツアー

内容：学校の夏休みなどの長期休暇等に開催した子どもや親子向けのツアー。
対象：小学3-4年生向け
実施日：5月5日［月・祝］、8月24日［日］、8月29日［金］、8月30日［土］、12月20日［土］、1月12日［月・祝］
参加人数：112人（計6回）



ランドスケープツアー

内容：作品ガイドボランティアとともに庭園をめぐり、建築や庭園、屋外彫刻について理解を深めるプログラム。
実施日：4月28日［月・祝］、5月6日［火］、11月24日［月・祝］、12月7日［日］
参加人数：77人（計4回）

アートフレンド活動記録

作品ガイドボランティアによる自主組織アートフレンドの活動

日にち	内容	場所	参加人数
5月10日	第1回博物館・美術館で開催中の展覧会鑑賞ツアー	豊田市博物館・美術館	16
6月18日	「翔美会」アート鑑賞でフレイル予防出前講座	美里1区区民会館	17
7月30日	放課後児童クラブ「せんだん」出前講座	豊田市立伊保小学校	77
7月31日	放課後児童クラブ 放課後児童クラブ「こだま」出前講座	豊田市立幸海小学校	22
8月19日	放課後児童クラブ「ふぁみりい」	豊田市立浄水小学校	35
8月19日	放課後児童クラブ「あおぞら」	豊田市立矢並小学校	6
8月25日	浄水北小学校「紙ひこうき」	豊田市立浄水北小学校	33
8月26日	1回目浄水小学校 放課後児童クラブ「ふぁみりい」	豊田市博物館・美術館	23
8月26日	2回目浄水小学校 放課後児童クラブ「ふぁみりい」	豊田市博物館・美術館	19
8月26日	浄水北小学校放課後児童クラブ「紙ひこうき」	豊田市博物館・美術館	25
8月30日	浄水小学校地域学校共働本部「そよ風」出前講座	豊田市立浄水小学校	11
11月5日	「はなみずきサロン」アート鑑賞でフレイル予防出前講座	浄水地区西集会場	7
11月18日	第2回博物館・美術館で開催中の展覧会を見よう！	豊田市博物館・美術館	17
2月7日	浄水小学校地域学校共働本部「そよ風」出前講座	豊田市立浄水小学校	9
2月20日	第3回博物館・美術館で開催中の展覧会を見よう!	豊田市博物館・美術館	16
合計			333

4 学校団体の受け入れ

小中学校／美術館見学学習

博学連携プログラム

豊田市博物館が2024年度に新規開館したことをうけ、博物館・美術館と連携して学校受け入れを行うプログラム。

来館日	学校名	人数
4月30日	豊田市立旭中学校	21
5月2日	豊田市立若園中学校	124
5月8日、9日	豊田市立末野原中学校	211
5月15日	豊田市立保見中学校	121
6月5日、6日	豊田市立美里中学校	190
6月12日	豊田市立若園小学校	136
7月4日	豊田市立小原中学校	25
7月8日	豊田市立野見小学校	65
7月10日	豊田市立井上小学校	93
7月11日	豊田市立稲武小学校	9
7月15日、16日	豊田市立前林中学校	189
7月17日	豊田市立中金小学校	9
9月2日	豊田市立朝日小学校	94
9月3日	豊田市立飯野小学校	44
10月1日	豊田市立高嶺小学校	114
10月8日、9日	豊田市立猿投台中学校	164
10月23日	豊田市立梅坪台中学校	107
11月4日、5日	豊田市立逢妻中学校	243
11月12日	豊田市立足助小学校・則定小学校・萩野小学校	31
11月13日	豊田市立青木小学校	117
11月18日	豊田市立小清水小学校	137
11月19日	豊田市立市木小学校	53
11月19日	豊田市立御蔵小学校・大蔵小学校	17
11月20日	豊田市立西保見小学校	39
11月25日、26日	豊田市立豊南中学校	201

11月27日、28日	豊田市立竜神中学校	212
12月2日	豊田市立堤小学校	118
12月3日	豊田市立稲武中学校	10
12月19日	豊田市立井郷中学校	132
1月8日	豊田市立寿恵野小学校	108
1月13日	豊田市立足助中学校	45
1月14日	豊田市立古瀬間小学校	59
1月16日	豊田市立佐切小学校	11
2月17日	豊田市立美山小学校	121
3月4日	豊田市立平和小学校	43
3月10日	豊田市立石野中学校	48
3月12日	豊田市立高岡中学校	121
3月18日	豊田市立藤岡中学校	79
合計		3,661

心に残る記念事業（コンサート）にあわせた希望校の中学3年生の来館

＊学習の基本的な流れ

①講堂へ入場

②館職員による概要説明、美術館の紹介

③クラス単位で常設展、企画展を観覧

④講堂へ再入場、点呼後、退場

来館日	学校名	人数
8月19日	豊田市立下山中学校	32
8月20日	豊田市立豊田特別支援学校	7
合計		39

こども園・小中学校／授業・部活動等での見学

来館日	学校名	人数
5月28日	上一（サンイル）中学校	34
6月21日	豊田市立浄水中学校　美術部	34
7月1日	いぽぱらこども園	30
7月3日	豊田市立朝日丘中学校　吹奏楽部	41
7月19日	西尾市立吉良中学校	22
7月19日	日進市立日進北中学校	10
7月30日	刈谷市立刈谷南中学校	33
7月30日	金城学院中学校	5
8月1日	東郷町立春木中学校	20
8月5日	豊田市立猿投台中学校　美術部	16
8月6日	名古屋市立守山東中学校　美術部	25
8月21日	名古屋市立瑞穂ヶ丘中学校	19
8月26日	放課後児童クラブ（豊田市立浄水北小学校・浄水小学校）	59
8月27日	知立市立竜北中学校	11
9月24日、26日	豊田市立童子山小学校　2年生	110
11月14日	豊田市立井上小学校	72
11月26日	豊田市立藤岡中学校特別支援学級	10
12月17日	岡崎市立広幡小学校	93
1月6日	豊田市立浄水中学校	12
2月17日	特定非営利活動法人トルシーダ	18
2月28日	豊田市立浄水中学校　美術部	24
3月15日	豊田市立猿投台中学校	15
合計		713

中学校／職場体験

来館日	学校名	人数
11月26日-28日	豊田市立若園中学校2年生	3
10月29日-31日	豊田市立猿投台中学校2年生	2

高校生・大学生・専門学校生の見学

来館日	学校名	人数
5月22日	愛知県立豊田東高等学校	35
7月1日	トヨタ工業学園高等部	8
7月6日	豊橋商業高等学校ほか　美術部	50
7月10日	岐阜県立各務野高等学校	52
7月16日	愛知県立足助高等学校	50
7月16日	トライ式高等学院豊田キャンパス	16
7月18日	愛知県立岩倉総合高等学校	28
7月22日	専修学校クラーク高等学院名古屋	36
7月24日	和歌山市立和歌山高等学校	37
7月25日	静岡県立清水南高等学校芸術科	43
7月29日	東邦高等学校	18
7月31日	愛知大学	6
8月1日	三重県立いなべ総合学園高等学校	10
8月1日	愛知県立豊田東高等学校　IFC部	9
8月8日	三好特別支援学校	20
8月27日	愛知県立豊田高等特別支援学校	16
8月28日	大阪芸術大学	16
10月10日	愛知県立足助高等学校	34
10月17日	愛知県立豊田高等学校	21
10月25日	名城大学	31
10月30日	愛知県立愛知総合工科高等学校	42
10月30日	豊田工業高等専門学校	44
11月15日	三重大学工学部総合工学科建築学コース	42
11月22日	大阪工業技術専門学校	45
11月28日	愛知県立芸術大学　博物館展示論受講生	19
12月5日	浜松日建工科専門学校	101
12月13日	岐阜県立加茂高等学校　美術部	12
12月18日	名古屋経済大学市邨高等学校	18
1月14日	名古屋大学文学部美学美術史学研究室	11
1月16日	南山高等学校男子部	52
1月20日	愛知県立にしお特別支援学校高等部	16
2月10日	愛知県立豊田高等特別支援学校　観光班	13
2月10日	岐阜女子大学建築デザイン専攻	27
2月24日	愛知県立旭陵高等学校	32
3月11日	日本大学理工学部建築学科	44
合計		1,054

5 博物館実習

実習生：14人（8大学）

実習期間：8月26日［火］－30日［土］ 計5日間

カリキュラム

	実習内容
1日目	オリエンテーション
	美術館の役割
	美術館の運営、組織、業務内容について
2日目	作品収集の意義
	美術館における調査研究
	展覧会の企画から実施まで
3日目	作品の管理・保存
	教育普及活動について
	作品資料調査、調書作成
4日目	作品資料調査、調書作成
5日目	作品資料調査作業の報告
	実習のまとめ～感想及び意見交換

6 学芸員研修生

研修生：1人（愛知県立芸術大学との連携事業として）

7 研修会

来館日	団体名	人数
5月8日	椙山女学園大学　アート思考講座	7
7月11日	南山高等学校男子部	11
7月22日	清須市はるひ美術館サポーター	14
7月29日	豊田市美術図工部会自主研修	128
7月29日	ミュージアムデイ	88
8月5日	教員のための博物館の日	39
8月8日	三河教育研究会+モネ展観覧	77+98
9月4日	豊田市立山之手小学校（出張授業）	112
10月10日	愛知県立足助高等学校観光コース（博物館と合同）	35
10月17日	愛知県立豊田高等学校1年生　進路探求学習	20
10月24日	南山高等学校男子部	10
11月11日	南山高等学校男子部	12
1月16日	南山高等学校男子部	28
1月20日	豊田市立豊田特別支援学校中等部	4
合計		683

8 来館促進事業

お庭でマルシェ

日時：5月3日［土・祝］、4日［日・祝］

いずれも午前10時－午後4時

会場：美術館・博物館庭園

共催：豊田市中心市街地活性化協議会

運営：一般社団法人TCCM

参加人数：4,610人（うち美術館2,318人）
出店数：54店（うち美術館27店）

託児サービス

日時：7月10日［木］、7月15日［火］、2月11日［水・祝］、2月22日［日］、2月25日［水］、3月10日［火］
いずれも①午前10時15分－午後1時15分、②午後1時30分－4時30分
会場：ワークショップルーム
対象：未就学児
参加人数：のべ13人

庭活　～モルックとヨガと～

実施日：10月5日［日］
会場：美術館・博物館庭園ほか
［美術館のお庭でヨガ体験］
時間：午前10時30分－11時15分、午後0時30分－1時15分
参加人数：22人
［舞のように美しい中国武術　木蘭拳体験］
時間：午前11時30分－午後0時15分、午後1時30分－2時15分
参加人数：9人

写生大会

実施日：11月9日［日］
＊雨天により中止

恋活　アートマッチング～はじまりは美術館～

日時：2月1日［日］午後2時－5時30分
会場：展示室、レストランほか
内容：セミナー、コレクション展観覧、レストランでの交流イベント
参加人数：23人

9 出版、ビデオ、音声ガイド制作

出版、印刷物

『紀要 No.18』
『年報（令和6年度版）』
「配布用ギャラリーガイド／音声ガイド」
「子ども向けギャラリーガイド」
常設展、常設特別展、企画展に関する出版／印刷物は、各展覧会の掲載ページを参照のこと。

ビデオ制作

企画展「モネ－睡蓮のとき」展　15分
企画展「アンチ・アクション　彼女たち、それぞれの応答と挑戦」展　15分
企画展「没後50年　高島野十郎」展　15分
関連イベント記録ビデオ　15回分
開館30周年記念イベント記録ビデオ　12回分

10 撮影協力

企業カタログ、記念撮影等　16件

調査研究

1. 展覧会に関すること

▎石田大祐
・（展覧会解説）「クロード・モネの生涯と展覧会のみどころ」『図書館だより』vol.57、豊田市中央図書館、2025年6月

▎千葉真智子
・（カタログ）「見えないものの潜在力」『アンチ・アクション　彼女たちそれぞれの応答と挑戦』展カタログ、青幻舎、2025年
・（ZINE）「批評家と女性作家」『別冊　アンチ・アクション』展覧会配布物、2025年
・（ZINE）「批評の分水嶺」『別冊　アンチ・アクション』展覧会配布物、2025年
・（ZINE）「作家たちのパートナーシップ」『別冊　アンチ・アクション』展覧会配布物、2025年
・（展覧会解説）「別の仕方を通して、時代を眺め直す」『美術の窓』2025年10月号

▎成瀬美幸
・（カタログ）「愛美社のこと」『没後50年 髙島野十郎展』展覧会カタログ、毎日新聞社、2025年
・（カタログ）「第八高等学校と髙島（嶋）彌壽」『没後50年 髙島野十郎展』展覧会カタログ、毎日新聞社、2025年
・（作品解説）「没後50年 髙島野十郎展 上：すいれんの池」『中日新聞朝刊』2026年1月21日
・（作品解説）「没後50年 髙島野十郎展 下：蝋燭」『中日新聞朝刊』2026年1月22日
・（展覧会解説）「没後50年 髙島野十郎展」『毎日新聞朝刊』2026年1月24日

▎西﨑紀衣
・（展覧会解説）「没後20年　井田照一展」『版画芸術』No.211、2026年

2. 所蔵作品・所蔵作家等に関すること

▎亀山裕亮
・「エドヴァルド・ムンクの〈接吻〉ー 1895年の版画作品の位置づけについて」『豊田市美術館紀要』No.18、2026年

▎成瀬美幸
・「山田光春の後半生（1945〜1981）」『豊田市美術館紀要』No.18、2026年

3. そのほか

▎鈴木俊晴
・「事例紹介：ギャラリーガイドをつくろう！」愛知県博物館協会職員研修会「博物館のためのワークショップのワークショップ」2025年11月26日（豊橋市自然史博物館）

▎千葉真智子
・「アール・デコ博覧会による消費文化と都市の表象」『アール・デコとモード』展覧会カタログ、三菱一号館美術館、2025年
・「大木裕之追悼上映会＋雑談会　PEPPERLANDの一夜」『PEPPERLAND』PEPPERLAND、2025年
・「大木さんのこと」『大大木裕之展』カタログ、Art Center NEW、2026年

利用実績

展覧会総観覧者数：498,179 人

附属施設利用者数：118,243人

施設総利用者数：616,422人

1 | 観覧者数

※常設特別展含む　　（人）

年	月	日数	企画展		常設展		髙橋節郎館		合計	
			観覧者数	1日平均	観覧者数	1日平均	観覧者数	1日平均	観覧者数	1日平均
2025	4	27	12,196	452	6,762	250	5,383	199	24,341	902
	5	18	13,039	724	7,002	389	5,566	309	25,607	1,423
	6	21	18,960	903	9,678	461	5,326	254	33,964	1,617
	7	28	59,792	2,135	31,982	1,142	17,517	626	109,291	3,903
	8	28	67,527	2,412	38,017	1,358	21,525	769	127,069	4,538
	9	13	46,240	3,557	22,579	1,737	13,598	1,046	82,417	6,340
	10	25	5,310	212	5,450	218	1,926	77	12,686	507
	11	28	7,933	283	7,933	283	2,421	86	18,287	653
	12	18	0	0	2,428	135	1,461	81	3,889	216
2026	1	24	9,536	397	7,660	319	1,845	77	19,041	793
	2	25	12,470	499	9,879	395	2,835	113	25,184	1,007
	3	13	8,533	656	6,397	492	1,473	113	16,403	1,262
合計		268	261,536	976	155,767	581	80,876	302	498,179	1,859

2 | ギャラリー利用状況

（人）

開催期間	開催日数	展覧会名	入場者数	1日平均	主催者市内・市外
2025年4月1日［火］－4月6日［日］	6	今年も描きました展 （第32回私にも描けました展）	757	126	市内
4月9日［水］－4月13日［日］	5	西陣美術織　若冲　動植綵絵展	1,041	208	市外
4月15日［火］－4月20日［日］	6	キルトハーツ・パッチワークキルト展 42th	1,014	169	市内
4月25日［金］－4月27日［日］	3	ひらひらひら展	487	162	市外
4月29日［火］－5月4日［日］	6	豊田市の壁_写真展 2025	1,297	216	市内
5月7日［水］－5月11日［日］	5	第25回G.A.M公募展	842	168	市外
5月13日［火］－5月18日［日］	6	季の文化展　薔薇とテーブルと	943	157	市内
11月4日［火］－11月9日［日］	6	豊田市社会福祉協議会法人化50周年記念「笑顔」絵画コンクール	198	33	市内
12月2日［火］－12月7日［日］	6	間瀬邦子作品展	552	92	市内
12月9日［火］－12月14日［日］	6	第17回創造の仲間たち展	648	108	市内
12月16日［火］－12月21日［日］	6	竹内晴海日本画展	587	98	市内
2026年1月13日［火］－1月18日［日］	6	城郭模型とキューブアートで見る日本の美	1,529	255	市内
合計	67		9,895	148	

※開催期間は利用許可上の期間、開催日数は実際の開催日数で記載

3 | ライブラリー利用状況

（人）

年	月	利用人数
2025	4	780
	5	734
	6	602
	7	1,519
	8	1,779
	9	683
	10	385
	11	404
	12	218
2026	1	398
	2	431
	3	294
合計		8,227
1 日平均		32

4 | レストラン等付属施設利用実績

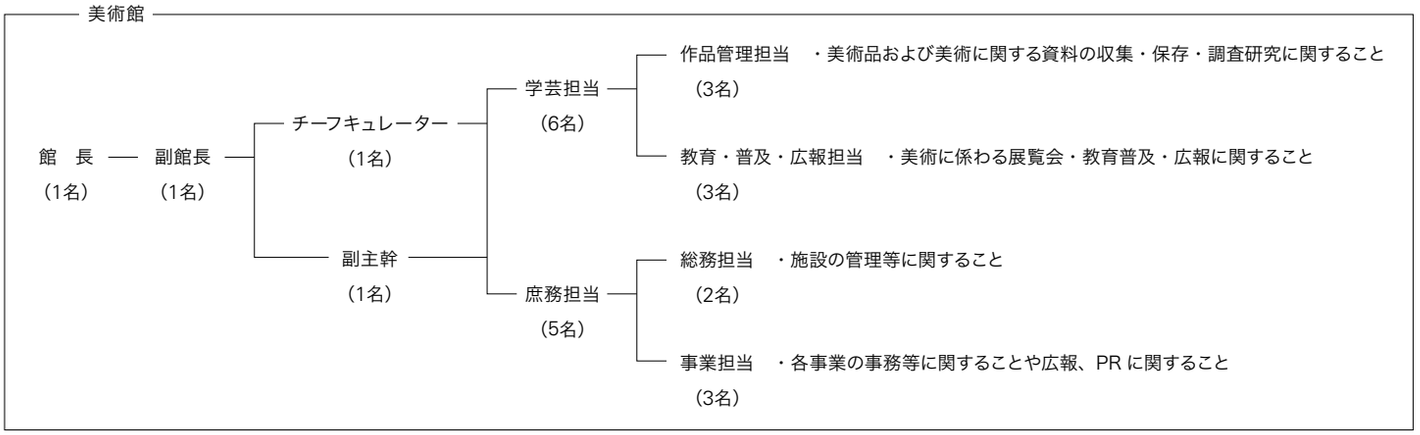
（人）

年	月	日数	レストラン	ミュージアムショップ	茶室 童子苑	その他施設	合計
2025	4	28	2,523	2,106	1,886	203	6,718
	5	18	1,811	2,409	1,856	2,920	8,996
	6	9	1,142	1,780	2,139	521	5,582
	7	28	4,362	5,247	3,665	784	14,058
	8	28	4,690	5,606	3,929	991	15,216
	9	13	1,899	4,106	2,400	342	8,747
	10	24	1,100	1,109	1,243	3,878	7,330
	11	28	1,609	1,537	2,282	1,828	7,256
	12	18	872	465	857	660	2,854
2026	1	24	2,002	3,389	1,442	632	7,465
	2	25	2,537	4,701	1,546	489	9,273
	3	15	1,416	3,279	1,214	717	6,626
合計		258	25,963	35,734	24,459	13,965	100,121

※その他施設：ワークショップルーム、講堂、庭園
※茶室童子苑は、立礼席利用者と茶室利用者の合計

組織

1 | 組織図　※2025年4月1日現在



※美術館の分掌事務

・美術館の運営管理に関すること。
・美術品及び美術に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
・美術に係る展覧会等の事業の実施に関すること。
・美術に係る調査研究に関すること。
・美術の普及及び教育に関すること。

2 | 美術館運営協議会

より多くの感動を与え、親しまれる美術館運営を目指して、運営協議会を設置し、展覧会の開催、美術文化の普及･広報活動、来館者サービスの現状と課題について協議しました。

①委　員　10名
②開催日　2025年7月24日［木］
　　2026年2月3日［火］

3 | 美術品収集委員会

ゲルハルト・リヒター《8枚のガラス》の購入及び梅津庸一《戯れ》はじめ41件の寄贈受入についての審査及び評価がされ、すべての案件が可決されました。

①委　員　5名
②開催日　2025年8月18日［月］

関係法規

豊田市美術館条例

平成7年3月31日
条例第1号

（趣旨）

第1条　この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2の規定に基づき、豊田市美術館の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第2条　美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、豊田市美術館（以下「美術館」という。）を豊田市小坂本町8丁目5番地1に設置する。

（事業）

第3条　美術館においては、次に掲げる事業を行う。
(1)　美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
(2)　美術に関する専門的な調査研究を行うこと。
(3)　美術に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
(4)　美術に関する講演会、講習会等を開催すること。
(5)　前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するため、市長が必要と認めた事業

（観覧料）

第4条　美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を観覧日までに納付しなければならない。
2　前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、観覧日後において観覧料を納付することができる。
(1)　地方自治法第232条の6第1項の規定による公金振替の方法により納付がなされる場合
(2)　その他市長が必要と認めた場合
3　前項の規定による納付は、市長が指定する日までになされなければならない。

（利用の許可）

第5条　別表第2に掲げる施設（以下単に「施設」という。）を利用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
2　学術研究等のため、美術品等の撮影、模写、模造、熟覧等（以下「美術品等の利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
3　市長は、施設又は美術品等の管理上必要があると認めたときは、前2項の許可に条件を付することができる。

（利用の不許可）

第6条　市長は、施設の利用及び美術品等の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、それらの利用を許可しない。
(1)　利用目的に違反すると認められるとき。
(2)　商業宣伝、営業等の行為が主たる目的であると認められるとき。
(3)　公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
(4)　その他管理上支障があると認められるとき。

（許可の取消し等）

第7条　市長は、第5条第1項又は第2項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は公益上特に必要があると認めたときは、その許可を取り消し、利用の中止若しくは停止を命じ、又はその許可に付した条件を変更することができる。
(1)　この条例又はこれに基づく規則の規定に違反したとき。
(2)　その許可に付した条件に違反したとき。
(3)　偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
2　前項の規定による許可の取消し等によって利用者に損害が生じた場合においても、市は、その責めを負わないものとする。

（使用料）

第8条　利用者（第5条第1項の規定により許可を受けた者に限る。）は、許可を受けたときにおいて、別表第2に定める使用料を市長が指定する日までに納付しなければならない。

（観覧料等の減免）

第9条　市長は、特別の事由があると認めたときは、市長が別に定める基準により、観覧料及び使用料を減免することができる。

（観覧料等の不還付）

第10条　既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、市長において特別の事由があると認めたときは、市長が別に定める基準により、その全部又は一部を還付することができる。

（権利の譲渡等の禁止）

第11条　利用者は、その利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（設備の設置承認及び原状回復）

第12条　利用者は、その利用に際して特別の設備を設置しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。
2　利用者は、前項の承認を受けて特別の設備を設置したときは、利用後速やかに原状に回復しなければならない。
3　市は、利用者が前項の義務を履行しないときは、これを代行し、その費用を利用者から徴収することができる。

（入館の制限）

第13条　市長は、美術館内の秩序を乱し、又は乱すおそれがあると認めた者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

（損害賠償）

第14条　美術館の入館者及び利用者は、故意又は過失により建物、附属設備又は物品を破損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないと認めたときは、この限りでない。

（美術館運営協議会）

第15条　博物館法（昭和26年法律第285号）第25条の規定により、美術館に豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。
2　運営協議会は、委員10人以内をもって組織する。
3　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。
(1)　学校教育の関係者
(2)　社会教育の関係者
(3)　家庭教育の向上に資する活動を行う者

(4)　学識経験を有する者
(5)　地域との連携に資する活動を行う者
(6)　公募による市民（市内に居住し、通勤し、又は通学する個人をいう。）
4　委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
5　前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委任）
第16条　この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。
附　則

（施行期日）
1　この条例は、平成7年11月11日（以下「施行日」という。）から施行する。

別表第1（第4条関係）
豊田市美術館観覧料

区分		観覧料(円)（1人1回につき）		年間観覧料（1人につき）	3館共通年間観覧料（1人につき）
		個人	20人以上の団体		
常設展示	一般	300	250	6,000円以内で市長が定める額	10,000円以内で市長が定める額
	大学生又は高校生	200	150		
	中学生以下の者	無料	無料		
常設特別展示及び企画展示	高校生以上の者	3,000円以内でその都度市長が定める額			
	中学生以下の者	無料			

備考
1　「大学生又は高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校若しくは専修学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
2　「一般」とは、大学生又は高校生及び中学生以下の者以外の者をいう。
3　「年間観覧料」とは、当該観覧料を納付した日の翌日から起算して1年を経過する日の属する月の末日までの間、同一人が回数について制限を受けることなく観覧することができる観覧料をいう。
4　前項に規定する期間に美術館を臨時に1月以上連続して休館する期間がかかる場合は、同項中「1年」とあるのは、「美術館を臨時に1月以上連続して休館する期間の月数（当該期間に1月未満の端数がある場合は、これを1月に切り上げるものとする。）を1年に加算した期間」とする。
5　「3館共通年間観覧料」の3館とは、美術館、豊田市博物館条例（令和5年条例第50号）に定める豊田市博物館及び豊田市民芸館施設条例（令和5年条例第51号）に定める豊田市民芸館をいう。

別表第2（第5条、第8条関係）
豊田市美術館使用料

1　ギャラリー使用料

区分	利用目的	単位	使用料（円）
ギャラリー	美術に関する展覧会等の開催	1日	12,000

2　茶室使用料

区分	利用目的	使用料（円）		
		午前（9:00～13:00）	午後（13:00～17:00）	夜間（17:00～21:00）
一歩亭	茶会の開催	3,500	3,500	3,500
豊祥庵		1,500	1,500	1,500

豊田市美術館管理規則

令和2年3月31日
規則第3号

（趣旨）
第1条　この規則は、豊田市美術館条例（平成7年条例第1号。以下「条例」という。）第16条の規定に基づき、豊田市美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

（開館時間等）
第2条　美術館の開館時間及び休館日は、次の表のとおりとする。

区分	開館時間	休館日
美術館（茶室を除く。）	午前10時から午後5時30分まで	(1)　月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。） (2)　12月28日から翌年1月4日まで (3)　美術品等（条例第3条第1号に規定する美術品等をいう。以下同じ。）の展示替えの作業を行う日として市長があらかじめ定める日
茶室	午前9時から午後9時まで	(1)　月曜日（休日に当たる日を除く。） (2)　12月28日から翌年1月4日まで

2　前項の規定にかかわらず、美術館が主催して展示する美術品等の展示会場（以下「展示会場」という。）へ入場できる時間（次項において「入場時間」という。）は、午前10時から午後5時までとする。
3　前2項の規定にかかわらず、市長は、特に必要があると認めたときは、臨時に開館時間、休館日及び入場時間を変更することができる。

（観覧券の交付）
第3条　市長は、条例第4条の規定により観覧料を納付した者に対し、観覧券を交付するものとする。

（観覧券の提示）
第4条　前条の規定により観覧券の交付を受けた者は、展示会場へ入場する際に当該観覧券を入口の係員に提示しなければならない。

（利用の手続）
第5条　条例第5条第1項の規定により施設の利用の許可を受けようとする者は、豊田市美術館利用許可申請書（様式第1号）を市長に提出しなければならない。
2　条例第5条第2項の規定により美術品等の利用の許可を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書を市長に提出しなければならない。
(1)　美術品等を利用する者の氏名及び住所
(2)　利用する美術品等の名称その他の美術品等の特定に必要な情報
(3)　美術品等の利用目的

(4)　美術品等の利用日時
(5)　その他市長が必要と認める事項
3　前項の場合において、利用しようとする美術品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得たことを証する書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得たことを証する書面をそれぞれ添付しなければならない。ただし、市長がその必要がないと認めるときは、この限りでない。
4　第1項及び第2項の許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、これらの項に規定する申請書その他必要な書面を別表第1に定める区分に従い同表に掲げる期間内に提出しなければならない。ただし、市長が特に必要と認めたときは、この限りでない。

（利用許可書の交付）
第6条　市長は、条例第5条第1項の許可をしたときは、豊田市美術館利用許可書（様式第2号。以下「許可書」という。）を申請者に交付する。

（利用期間）
第7条　施設を引き続き利用することのできる期間（以下「利用期間」という。）は、12日間とする。ただし、美術館が主催し、又は他の団体と共催する行事のために施設を利用するときその他市長が特に必要と認めたときは、この限りでない。
2　利用期間には、休館日を含めないものとする。

（利用の変更）
第8条　条例第5条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、許可書に記載された事項を変更しようとするときは、豊田市美術館利用変更許可申請書（様式第3号）に許可書を添えて市長に提出し、その許可を受けなければならない。
2　市長は、前項の規定により利用の変更を許可したときは、豊田市美術館利用変更許可書（様式第4号。以下「変更許可書」という。）を利用者に交付する。
3　前項の規定により利用の変更を許可された場合において、既納の使用料の額が変更後の使用料の額に対して不足額を生じるときは、利用者は、直ちに当該不足額を納入しなければならない。

（利用の許可の取消し）
第9条　利用者は、条例第5条第1項の許可の取消しを受けようとするときは、豊田市美術館利用許可取消申請書（様式第5号）に許可書又は変更許可書を添えて、市長に提出しなければならない。
2　市長は、前項の規定により許可を取り消したときは、豊田市美術館利用許可取消通知書（様式第6号）を利用者に交付する。

（観覧料等の減免）
第10条　条例第9条の規定により観覧料及び使用料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。
(1)　次のいずれかに該当する場合　観覧料の全額
ア　小学校、中学校若しくは市内に所在する高等学校又はこれらに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として児童又は生徒の引率者が美術館の展示を観覧しようとする場合
イ　高等学校の教育課程に基づく教育活動の一環として高校生及びその引率者が美術館の常設展示を観覧しようとする場合
(2)　次に掲げる要件のいずれかに該当する者が当該要件に該当することを証明するものを係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合　観覧料の全額
ア　市内に在住する18歳以下の者（18歳に達する者にあっては、18歳に達した日以後の最初の3月31日までの間にある者に限る。）及び70歳以上の者
イ　市内に住所を有し、かつ、高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。
ウ　市内に所在する高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。
(3)　次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けている者及びその介添者が当該手帳を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合　観覧料の全額
ア　身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条に規定する身体障害者手帳
イ　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳
ウ　戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条に規定する戦傷病者手帳
エ　厚生労働大臣の定めるところにより交付された療育手帳
(4)　市内に住所を有する者で市が実施する母子・父子家庭医療費の助成事業において当該母子・父子家庭医療費に係る受給者証の交付を受けているものが当該証書を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合　観覧料の全額
(5)　美術館の常設特別展示又は企画展示を観覧しようとする者が併せて美術館の常設展示を観覧しようとする場合　常設展示の観覧料の全額
(6)　市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事のために施設を利用する場合　使用料の全額
(7)　その他市長が特別の事由があると認めた場合　その都度市長が定める額
2　前項第1号又は第7号の規定により観覧料の減免を受けようとする者はあらかじめ豊田市美術館観覧料減免申請書（様式第7号）を、同項第6号又は第7号の規定により使用料の減免を受けようとする者は第5条第1項に規定する申請書の提出に併せて豊田市美術館使用料減免申請書（様式第8号）を市長に提出しなければならない。ただし、市長が特に必要がないと認めたときは、この限りでない。
3　市長は、観覧料の減免を承認したときは豊田市美術館観覧料減免承認書（様式第9号）を、使用料の減免を承認したときは豊田市美術館使用料減免承認書（様式第10号）を交付する。

（優待券等）
第11条　市長は、特に必要があると認めたときは、優待券又は招待券を発行することができる。

（観覧料等の還付）
第12条　条例第10条ただし書の規定による観覧料及び使用料の還付は、別表第2に定める基準によるものとする。

（利用責任者）
第13条　利用者は、施設及び美術品等の利用に係る規律を保持するため、あらかじめ利用責任者を定めておかなければならない。

（事前打合せ）
第14条　利用者は、事前に係員と利用方法その他必要な事項について打合せを行わなければならない。ただし、市長が特に必要がないと認めたときは、この限りでない。

（利用後の届出等）
第15条　利用者は、施設又は美術品等の利用が終わったときは、直ちにその旨を届け出て、係員の点検を受けなければならない。

（利用者の遵守事項）
第16条　利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。
(1)　利用の許可を受けていない施設及びその附属設備並びに美術品等の利用をしないこと。
(2)　次条各号に規定する行為をしないこと。

(3)　施設の利用に当たっては、入場者の安全確保の措置を講じ、及び入場者に次条各号に規定する行為をさせないこと。
(4)　美術品等の利用に当たっては、美術品等の保存に悪影響を及ぼし、及び観覧者の観覧に支障を来す行為をしないこと。
(5)　係員の指示に従うこと。

(入館者の禁止事項)

第17条　入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。
(1)　施設及びその附属設備並びに美術品等を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をすること。
(2)　ライブラリーの図書、文献等の資料を所定の場所以外で閲覧すること。
(3)　所定の場所以外で飲食又は喫煙をすること。
(4)　騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をすること。
(5)　他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込むこと。
(6)　許可を受けないで美術館内及び敷地内において物品を販売し、又は金品の募集等の行為をすること。
(7)　その他美術館の運営に支障を来す行為をすること。

(美術館運営協議会の会長)

第18条　豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。
2　会長は、運営協議会を代表し、会務を総理する。

(運営協議会の会議)

第19条　運営協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、議長となる。
2　会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
3　会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(会議の特例)

第20条　会長は、緊急を要する場合その他やむを得ない理由のある場合は、委員に書面を送付し又は電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。以下同じ。）を送信し、その意見を徴し又は賛否を問い、その結果をもって会議の議決に代えることができる。
2　前条の規定は、前項の規定による書面又は電磁的記録による審議について準用する。この場合において、同条第2項中「会議」とあるのは「会議における審議」と、「過半数が出席しなければ開くことができない」とあるのは「半数以上から書面又は電磁的記録による回答がなければ成立しない」と、同条第3項中「出席委員」とあるのは「書面又は電磁的記録により回答のあった委員」と読み替えるものとする。

(委任)

第21条　この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

別表第1（第5条関係）

利用申請期間

利用区分		期間
施設の利用	ギャラリー	利用日の属する月が1月から3月までの場合 前年の1月5日から同月31日までの間
		利用日の属する月が4月から6月までの場合 前年の4月1日から同月30日までの間
		利用日の属する月が7月から9月までの場合 前年の7月1日から同月31日までの間
		利用日の属する月が10月から12月までの場合 前年の10月1日から同月31日までの間
	茶室	利用日の属する月の前12月から利用日の前7日までの間
美術品等の利用		利用日の属する月の前6月から利用日までの間

備考　引き続き2日以上利用しようとする場合の「利用日」とは、その最初の日をいう。

別表第2（第12条関係）

観覧料の還付の基準

区分	還付率
災害その他の観覧料（年間観覧料を除く。）を納付した者の責めに帰すことができない事由によって観覧ができなくなった場合	100％
その他市長が特別の事由があると認めた場合	その都度市長が定める還付率

使用料の還付の基準

区分	還付率
災害その他利用者の責めに帰すことができない事由による取消し	100％
利用日前 30 日までに取消申請がなされた場合	90％
利用日前 20 日までに取消申請がなされた場合	60％
利用日前 10 日までに取消申請がなされた場合	30％
その他市長が特別の事由があると認めた場合	その都度市長が定める還付率

沿革

昭和	54 (1979)年 7月	市民意識調査で、市民の20%が美術館の建設を望む結果
	59 (1984)年 3月	第4次豊田市総合計画 (- 平成2年)の文化施設整備で、(仮称)豊田市美術館の建設を発表
平成	2 (1990)年 4月	(仮称)豊田市美術館構想委員会を設置
	3 (1991)年 3月	(仮称)豊田市美術館構想委員会が (仮称)豊田市美術館構想を答申
	4月	(仮称)豊田市美術館美術品収集委員会を設置
	9月	(仮称)豊田市美術館・髙橋節郎記念館基本計画を策定
	4 (1992)年 3月	(仮称)豊田市美術館建設基本設計を策定
	5 (1993)年 3月	(仮称)豊田市美術館建設実施設計を策定
	6月	建設工事着工
	10月	ヴァチカン美術館との友好交流提携に調印
	6 (1994)年 6月	デトロイト美術館との友好交流提携に調印
	7 (1995)年 3月	豊田市美術館条例公布
	6月	建設工事竣工
	11月	豊田市美術館開館
	8 (1996)年 7月	入館者10万人達成
	11月	美術館ボランティア発足
	11月	豊田市都市景観賞 (主催 : 豊田市)
	12月	サインデザイン準優秀賞 (主催 : (社)日本サインデザイン協会)
	9 (1997)年 11月	入館者20万人達成
	11月	建築業協会賞 (主催 : 建築業協会)
	10 (1998)年 2月	愛知まちなみ建築賞 (主催 : 愛知県)
	4月	博物館登録
	12月	中部建築賞 (主催 : 中部建築賞協議会)
	11 (1999)年 5月	入館者30万人達成
	12 (2000)年 11月	公共建築賞 (主催 : (社)公共建築協会)
	13 (2001)年 1月	入館者40万人達成
	12月	サインデザイン準優秀賞 (主催 : (社)日本サインデザイン協会)
	12月	印刷出版研究所奨励賞 (主催 : 印刷出版研究所)
	14 (2002)年 4月	豊田市美術館運営協議会を設置
	10月	グッドデザイン賞 (主催 : (財)日本産業デザイン振興会)
	12月	サインデザイン優秀賞 (主催 : (社)日本サインデザイン協会)
	15 (2003)年 1月	入館者50万人達成
	17 (2005)年 11月	開館10周年記念事業
	22 (2010)年 12月	入館者100万人達成
	26 (2014)年 9月	バリアフリー化等改修工事による休館 (- 27年10月)
	27 (2015)年 10月	リニューアルオープン
	10月	開館20周年記念事業 (- 28年6月)
	29 (2017)年 1月	入館者200万人達成
	30 (2018)年 7月	LED化等改修工事による休館 (- 令和元年5月)
令和	1 (2019)年 6月	リニューアルオープン
	2 (2020)年 5月	優秀照明施設東海支部長賞 (主催 : (社)照明学会東海支部)
	3 (2021)年 6月	日本照明施設東海支部長賞 (主催 : (社)照明学会東海支部)
	5 (2023)年 12月	髙橋節郎館改修工事による休館 (- 7年1月)
	7 (2025)年 1月	髙橋節郎館リニューアルオープン
	4月	開館30周年記念事業 (- 8年3月)

奥付

豊田市美術館　年報　No.30（令和7年度）

発行 : 2026年7月

編集・発行 : 豊田市美術館

愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

tel.0565-34-6610

©2026 Toyota Municipal Museum of Art

印刷・製作 : 東名印刷株式会社